◆　資　料　編

Ⅰ．アンケート調査結果　（1P）

Ⅱ．グループインタビュー・ヒアリングの概要　（42P）

Ⅲ．先進地視察先レポート及びヒアリングシート　（47P）

Ⅳ．当所機関誌「商工とやま」2012 年 1 月号新春企画
　　副会頭座談会「いよいよ来るぞ！北陸新幹線」　（84P）

Ⅰ．アンケート調査結果

Ⅰ．アンケート調査結果

県内企業経営者、県内在住者（一般)、北陸新幹線沿線等の北関東地区の企業経営者、北関東地区及び首都圏在住者（一般）の方々を対象に、北陸新幹線に対する意識調査や経営者が抱える問題点や課題、一般市民のニーズ等を把握することを目的に下記のアンケート調査を実施した。

【実施期間】　平成 23 年 8 月～10 月

【対　　象】　県内企業経営者・県内在住者(一般)・北陸新幹線沿線の北関東地域の企業経営者
首都圏在住者(一般)

【送付数】　実送付数 5,184 枚（計画時 4,850 枚）

【回収目標】　最終目標 1,555 枚（回収率 30%以上）

【実回収数】　2,816 枚（回収率 54%）

◆対象及び調査数

No.	区分(該当ページ)	対象(調査先)	調査数	回収数 (回収率)
①	県内企業経営者 【3P～】	①当所議員企業（130 社） ②当所部会委員（200 社）／当所議員企業を除く ③当所調査協力企業（569 社）／議員・部会員企業を除く	計 899 枚	457 枚 (51%)
②	県内在住者 （一般） 【13P～】	①当所議員企業に勤務する従業員（1,300 名） ②当所部会委員企業に勤務する従業員(2,280 名) ③富山県・富山市職員（100 名）	計 3,680 枚	1,871 枚 (51%)
③	北陸新幹線沿線等の北関東地区の企業経営者 【20P～】	北陸新幹線沿線の商工会議所で製造業を営む議員及び会員企業等【熊谷、川口、深谷、上尾、高崎、前橋、桐生、伊勢崎、富岡、宇都宮、八王子商工会議所】	11 会議所×15 社 計 165 枚	79 枚 (48%)
④	北陸新幹線沿線等の北関東地区及び首都圏在住者（一般） 【27P～】	①北陸新幹線沿線の上記③にある商工会議所職員ほか（440 名）	計 440 枚	409 枚 (93%)
			合計 5,184 枚	2,816 枚 (55%)

①県内企業経営者対象アンケート調査結果

■調査概要

対象：当所議員企業、部会企業、県内調査協力企業

調査期間：平成 23 年 8 月～10 月

送付企業数：899 社（回収数 457 社、回収率 51%）

※四捨五入の関係上%合計が 100 にならない場合があります。

◆業種

業種	件数	%
製造	202	44.2
建設	63	13.8
卸売	62	13.6
小売	32	7.0
サービス	98	21.4
合計	457	100.0

◆年商

年商	件数	%
3,000 万円未満	14	3.1
3,000 万円以上～5,000 万円未満	10	2.2
5,000 万円以上～1 億円未満	16	3.5
1 億円以上～10 億円未満	145	31.7
10 億円以上	272	59.5
合計	457	100.0

◆従業員規模

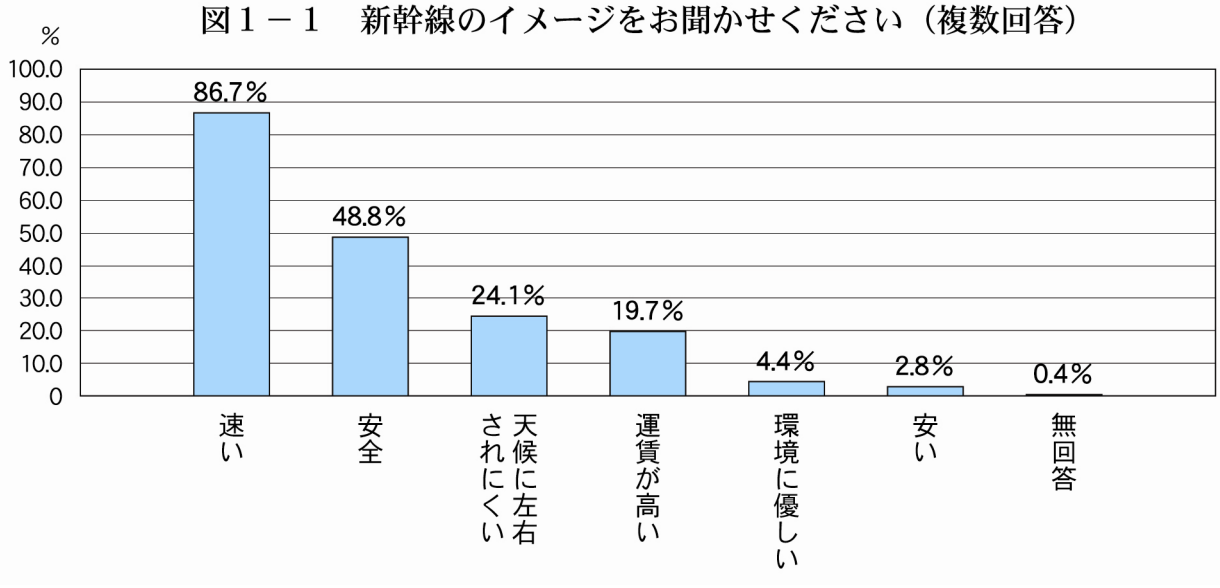
従業員数	件数	%
50 名未満	158	34.6
50 名以上～100 名未満	131	28.7
100 名以上～300 名未満	105	23.0
300 名以上～500 名未満	24	5.3
500 名以上	39	8.5
合計	457	100.0

■結果概要

１．新幹線のイメージは「速い」

新幹線のイメージについて上位２つの複数回答できいたところ、１位は「速い」（８６．７％）、次いで「安全」（４８．８％）、「天候に左右されにくい」（２４．１％）となり、「速い」というイメージが強い傾向が窺える（図１－１）。

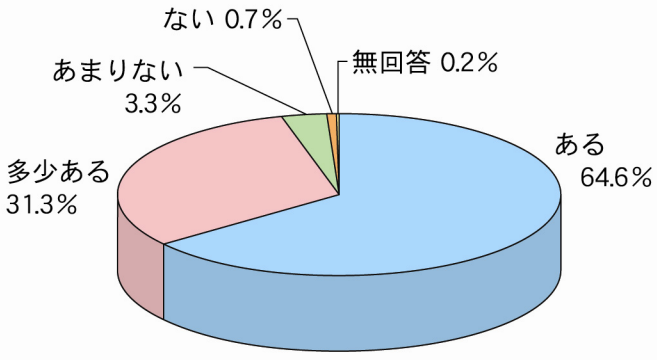
図１－１　新幹線のイメージをお聞かせください（複数回答）



２．地域社会に対する影響では95.9%が何らかの影響がある

北陸新幹線の地域社会に対する全体的な影響については「ある」（６４．６％）、「多少ある」（３１．３％）を合わせて約９６％の回答者が何らかの影響はあると答えている（図１－２）。

図１－２　地域社会に対する影響

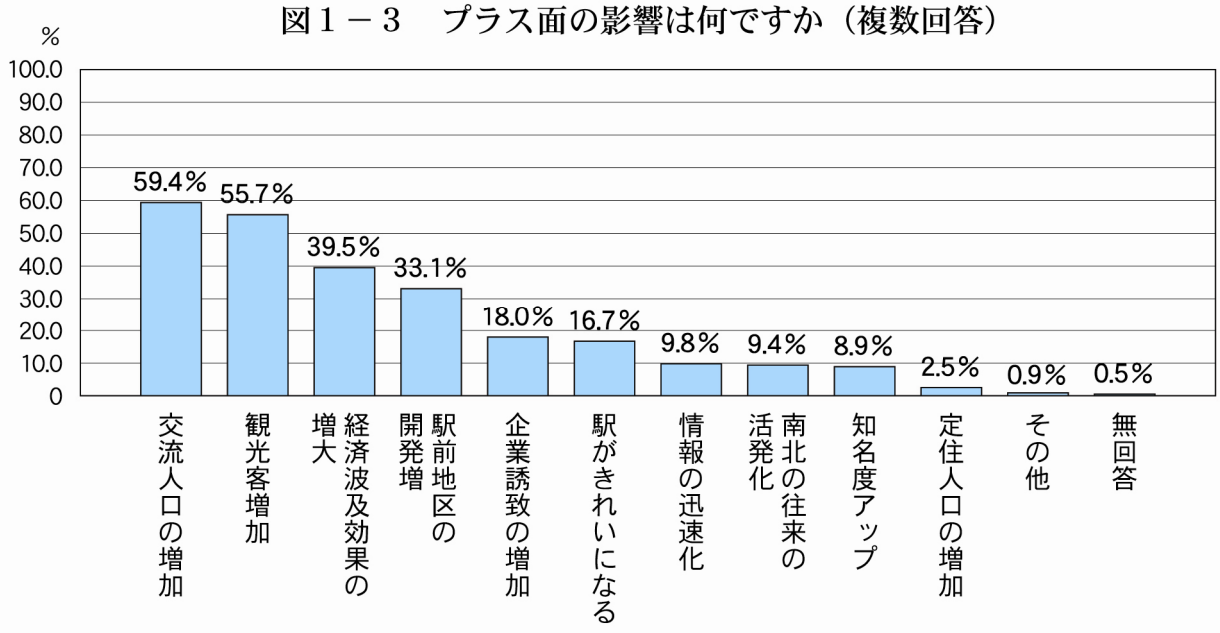


３．プラス面の影響は観光も含めた経済的効果、マイナス面は並行在来線や空港への影響

北陸新幹線の地域社会への影響が「ある」「多少ある」との回答者に、その具体的な影響について複数回答で聞いたところ

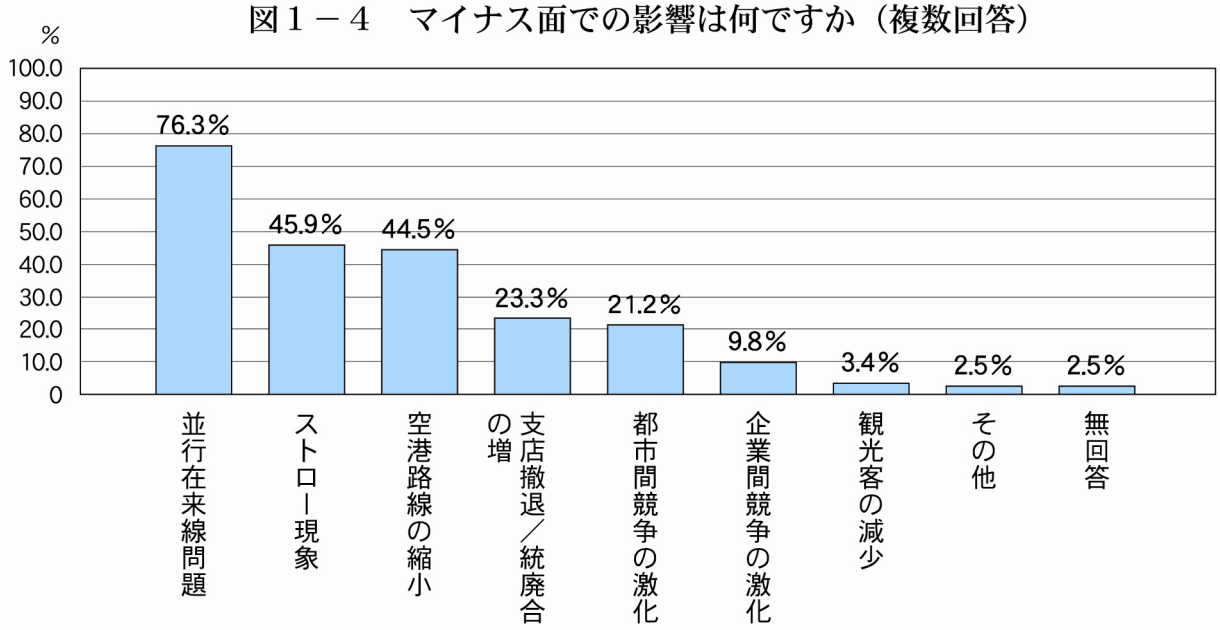
○プラス面では「交流人口の増加」（５９．４％）、「観光客の増加」（５５．７％）、「経済波及効果の増大」（３９．５％）の回答が多く、観光も含めた経済的な効果に期待している傾向が窺える（図１－３）。

図１－３　プラス面の影響は何ですか（複数回答）



○マイナス面の上位では「並行在来線問題」（７６．３％）、「ストロー現象」（４５．９％）、「空港路線の縮小」（４４．５％）と続き、県民の足である並行在来線や空港の今後と、地元経済が受ける影響について懸念が寄せられている傾向が窺える（図１－４）。

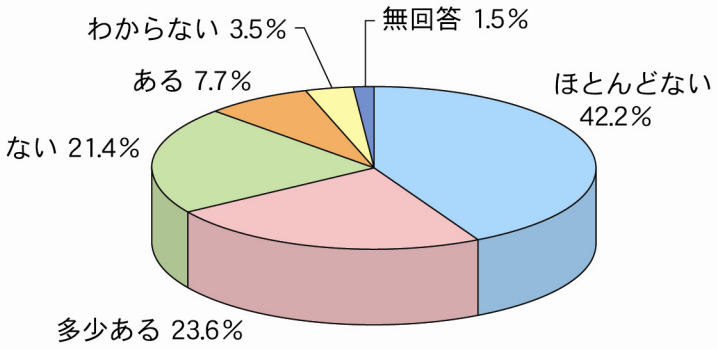
図１－４　マイナス面での影響は何ですか（複数回答）



４．商圏への影響を懸念

商圏への影響について聞いたところ、「ほとんどない」（４２．２％）が最も多く、ついで「多少ある」（２３．６％）、「ない」（２１．４％）となっている。「ほとんどない」、「ない」の回答をあわせると６０％以上の回答者が影響はないと答えている一方、「ある」、「多少ある」と商圏への影響を懸念している割合も３割あった（図１－５）。

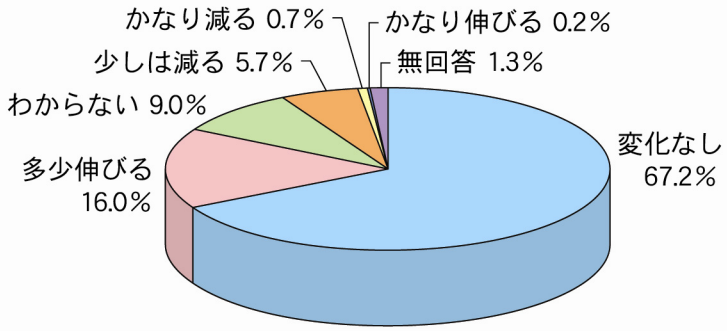
図１－５　貴社の商圏への影響



５．売り上げへの影響については、「変化なし」が６割超。

売上への影響について聞いたところ、「変化なし」（６７．２％）、次いで「多少伸びる」（１６．０％）と続いており、若干前向きな意見も出ている（図１－６）。

図１－６　貴社の売上への影響



また、回答した企業の業種別で見ると、「売上げが伸びる」と回答した企業は製造業とサービス業で全体の８割を占めている。「売上げが減る」と回答した企業の業種割合はほぼ均等だが、「かなり減る」と回答したのは建設業と小売業であった（図１－７、図１－８）。

図１－７　売上が減ると回答した業種の割合

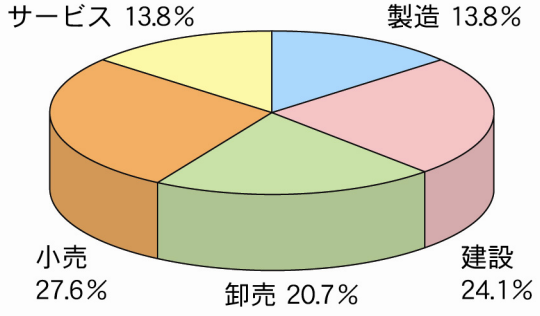
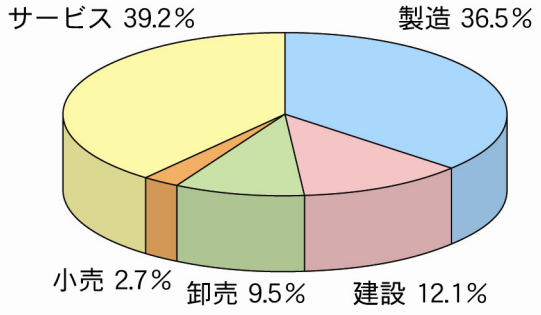


図１－８　売上が伸びると回答した業種の割合



６．北陸新幹線開業後の支社支店の統廃合は「ない」、「わからない」が多数

「開業後の支店、支社の統廃合への影響」は「ない」「分からない」との回答が全体の９割以上を占める結果となったが、「検討中」と回答した企業が２％（9 社）あった（図１－９）。また、「支社等の進出への影響」について聞いたところ「ない」８４．７％となったが、「ある」１．５％（7 社）、「検討中」３．１％（14 社）と多少なりとも影響がある事が窺える（図１－１０）。

北陸新幹線開業後の支社や支店の統廃合、支店等の進出については「分からない」との回答も多く、開業がまだ先ということもあり具体的な影響がまだ見えないという事も考えられる。

開業に向けた取り組みについて聞いたところ、「特に予定はない」（７８．８％）「分からない」（４．８％）との結果になった（図１－１１）。

図１－９　貴社の統廃合への影響

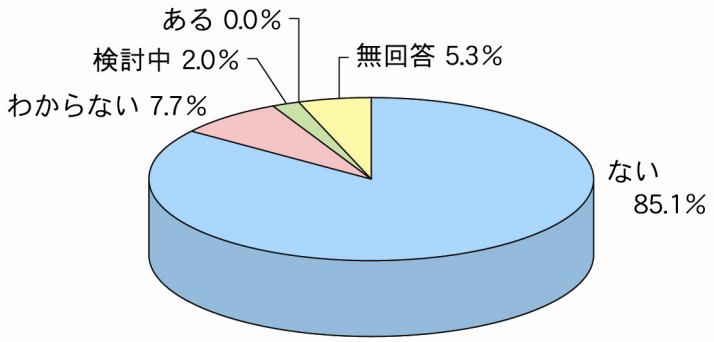


図１－10　貴社の支店進出等への影響

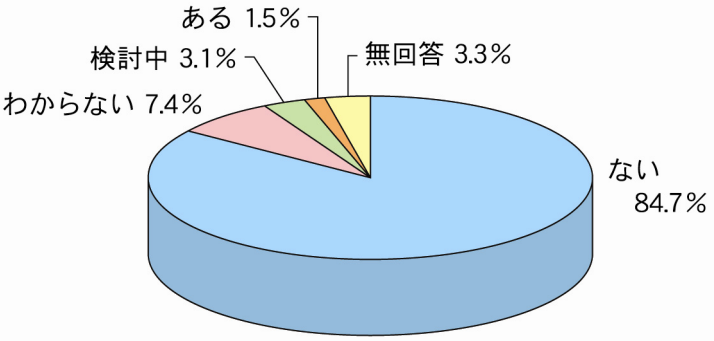
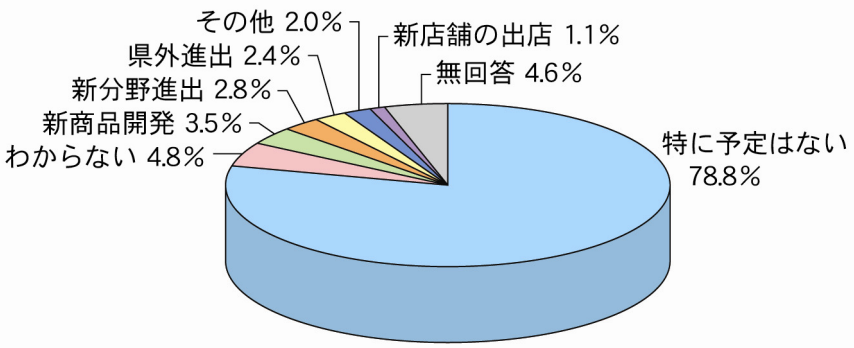


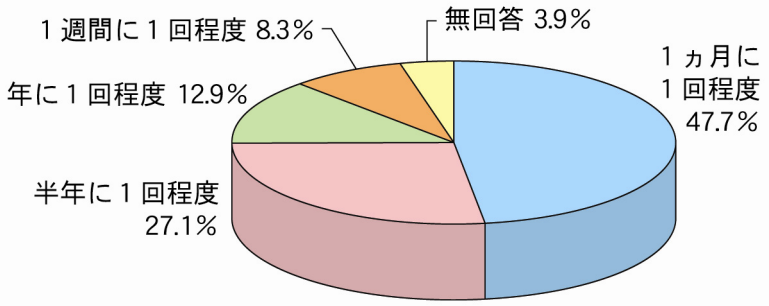
図１－11　貴社の開業に向けた取り組み



７．現在の東京方面への出張頻度は「１ヵ月に１回程度」

現在の東京方面への出張頻度について聞いたところ、「１ヵ月に１回程度」（４７．７％）で最も多く、次いで「半年に１回程度」（２７．１％）となった（図１－１２）。

図１－12　貴社の東京への出張頻度



８．北陸新幹線開業後、東京へは回答企業の８割が新幹線を利用

首都圏への移動手段で現在最も多いのは「電車」（５１．２％）、次いで「飛行機」（４３．３％）となっているが、新幹線開業後の移動手段について聞いたところ「新幹線」を利用するとの回答が８１．２％となった。「飛行機を利用する」との回答は１３．８％になり、開業前の４３．３％から２９．５ポイント減り、新幹線へシフトするという結果になった（図１－１３、図１－１４）。

図１－13　東京方面への移動手段は何ですか

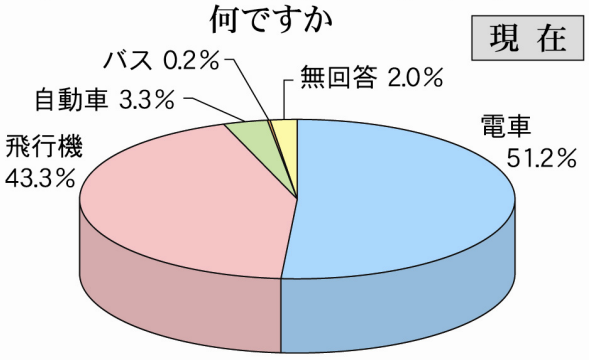
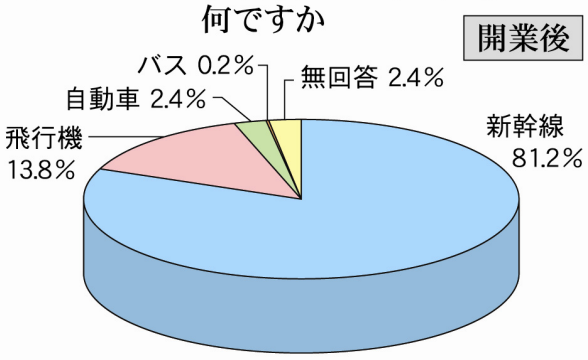


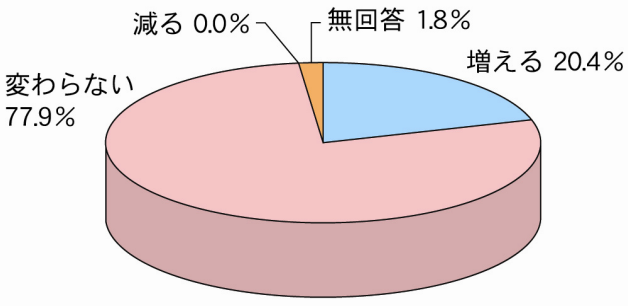
図１－14　東京方面への移動手段は何ですか



９．２割の企業が出張が増えると回答

北陸新幹線開業後の出張回数への影響について聞いたところ、「増える」（２０．４％）と回答した企業が全体の 2 割を占めており、北陸新幹線開業後はビジネスにおける交流人口の増加等が予想される。なお、「減る」と回答した企業は無かった（図１－１５）。

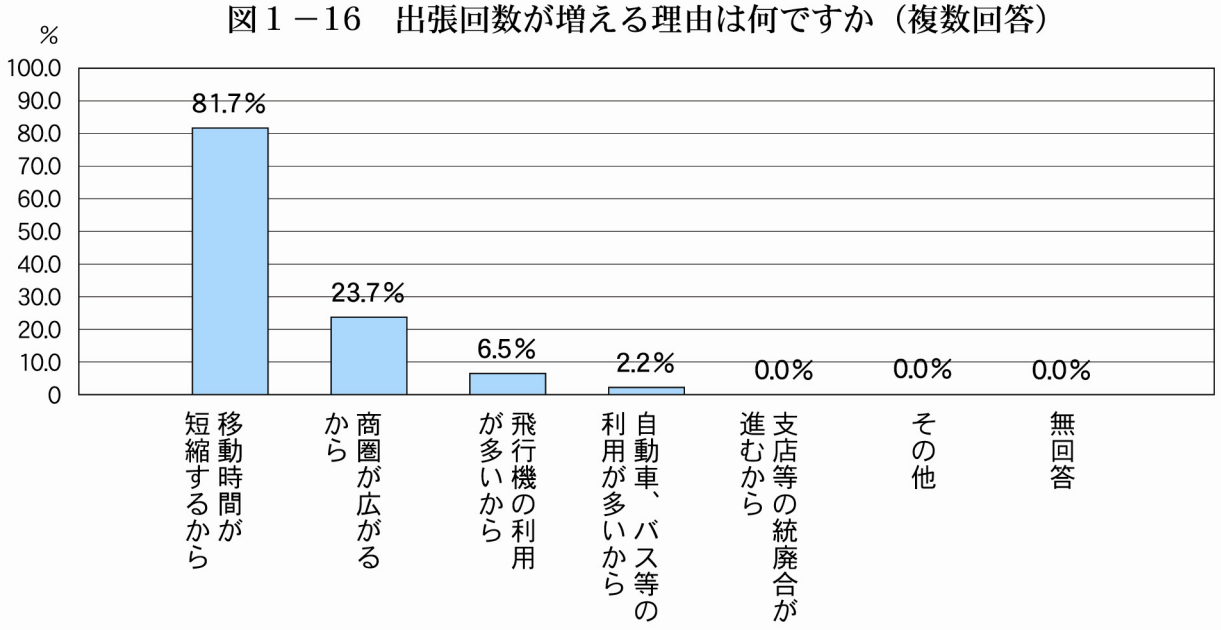
図１－15　貴社の出張回数に影響はありますか



10. 出張が増える理由は「移動時間が短縮するから」

出張回数が「増える」との回答者にその理由を複数回答で聞いたところ、「移動時間が短縮するから」（８１．７％）が最も多く、次いで「商圏が広がるから」（２３．７％）となった（図１－１６）。

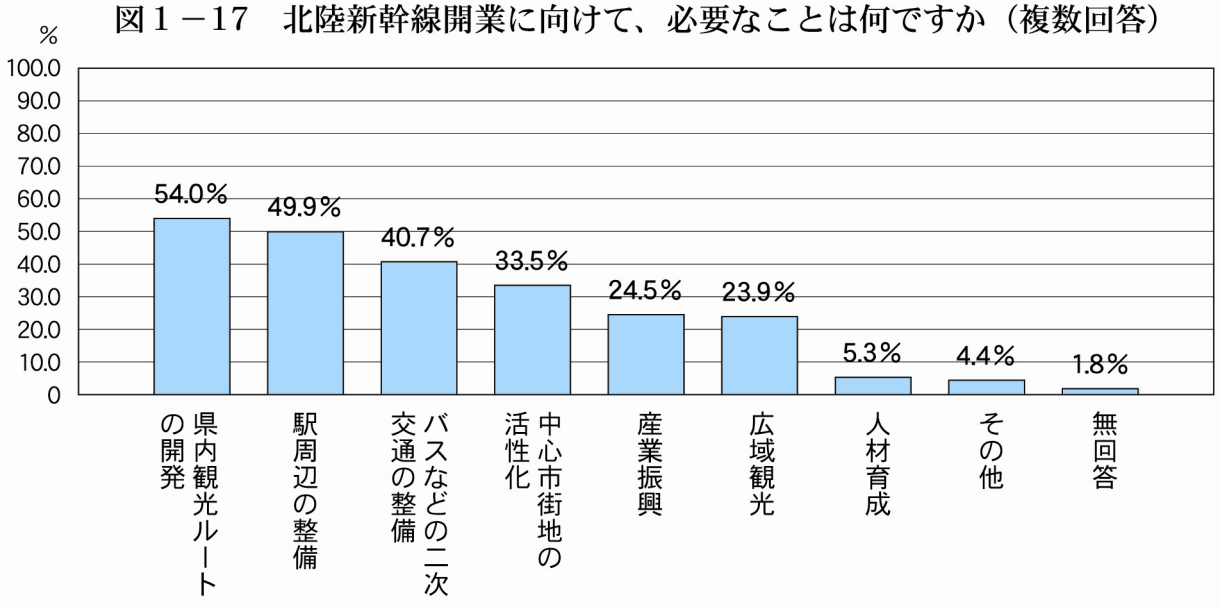
図１－16　出張回数が増える理由は何ですか（複数回答）



11. 北陸新幹線開業に向けて、県内観光ルートの開発や駅周辺の整備を

北陸新幹線開業に向けて、必要なことを複数回答で聞いたところ、「県内観光ルートの開発」（５４．０％）、「駅周辺の整備」（４９．９％）、「二次交通の整備」（４０．７％）と続き、企業経営者も県内観光ルートの開発や、それらを結ぶ二次交通の整備、駅周辺の整備等の必要性を感じている事が窺える（図１－１７）。

図１－17　北陸新幹線開業に向けて、必要なことは何ですか（複数回答）



以上

○県内経営者アンケートでいただいた意見や要望	
■	政策等の統一性、バラバラに動くと方向性が見えなくなる。
■	観光関係人材育成に対する支援
■	在来線の利便性の確保等の議論をオープンにして欲しい。
■	交流人口を増す為の政策を実施して欲しい！。
■	東京着の朝一番を、8時頃にしてほしい。
■	鉄道と駅利用者に対しての駐車場の増。特に鉄道利用者の無料駐車場の増
■	観光事業整備が遅れているのではないですか。
■	富山～大阪の特急は富山発をお願いしたい。
■	行政は縦割りです。そこを横断していくのが商工会議所の役割です。全体の把握です。小規模の地元企業が苦しんでいます。メリットよりデメリットが大きいのではと考えています。
■	駅、市電等延長線上での無料駐車場の整備。
■	関西方面からの特急が金沢止まりになるのは相当深刻な問題だと思う。
■	新幹線により富山～金沢間サンダーバードが廃止になると聞いたがどうしてなのか？富山～大阪間サンダーバードは残すべきである。
■	在来線の存続と飛行機便数の確保
■	名古屋・大阪出張の影響がある為、富山発着を考慮願いたい。
■	富山・高岡から関西へのアクセスも利便性の向上をお願いします。
■	在来線も含めて、二次交通整備の充実
■	学会や全国大会の誘致を積極的に勧めて欲しい。
■	現在の高岡駅南口から新駅やその他の方面へのバスを運行して欲しいと思います。
■	敦賀以西は大阪へ敷かず、米原まで敷き、名古屋からリニアモーターカーに乗継ぐ態勢にした方が将来的には効果的と考えます。
■	東京～通過地点として、また、関西、中京から切り捨てられないような活動をして下さい。
■	国、近隣県との連携強化
■	富山駅や新高岡駅を発着する電車、バス等のダイヤ、頻度、始終発時間の繰上げ、繰下げの検討をお願いします。
■	大阪方面の早期開業を望みます。
■	在来線の問題の解決。大阪方面への利便性の向上。
■	自然を活かした観光開発、町造り。
■	北陸新幹線開業を東京中心に全国に周知してもらうよう宣伝に力を入れ、ビジネス面にて周知徹底でお願いしたい。
■	何かある時にしか乗車しない新幹線の為に毎日使用する在来線に影響が出るのはおかしい。
■	平行在来線をどう扱うかと、新幹線への過度な期待感。
■	高齢化が進む為在来線の確保、バス等の移動手段の充実をお願いしたい。
■	大阪まで早急に。生活、文化etc関西圏の富山ですから。
■	在来線を大切にして欲しい。
■	大阪、関西エリアとの結びつきが弱くなる。富山～大阪直通の在来線の維持が必須。金沢～米原間の新幹線開通を！
■	駅周辺整備は地元企業優先に配分されるように工事発注してもらいたい。
■	国、県、市へのアンケート等が多く業務に支障をきたしている。何とかならないか？
■	開業に向けての具体的な施策が不透明。何を目指しているのか分からない。
■	新幹線駅への交通アクセスの利便性の向上
■	金沢・東京へのストロー化
■	富山から京都、大阪方面へ移動する手段について、スムーズに出来る様検討願います。

■	新幹線の建設で地元企業に金が落ちていないのが残念。
■	新幹線は賛否両論だと思います。プラス面が今のところ少ないかも知れません。建設費用が大だからです。しかし、新幹線が通う事で未来が広がり、夢がありますね。
■	中心市街地の活性化をお願いしたい。
■	局部（所）的な検討ではなく、経済、観光、人、物、金を含め検討する。
■	在来線の安定的な運営
■	富山市、高岡市をトータルポイントにしなければ富山県の未来はない。
■	在来線の維持
■	従来の駅から行ける道の整備が必要ではないか。
■	新幹線など不要なものへの取り組みはするな。新幹線開業の失敗は素直に認めよ。在来線の問題（県民の足、財源）などを直視せよ。
■	大切な立山をアピールしつつ、ＥＣＯ化も必要ではないでしょうか？
■	北陸新幹線開業までに能越道を七尾まで確実に開通してもらいたい。
■	もっと魅力ある市づくり、住みやすい市づくり、何度も訪れたい人づくりを進めてほしい。
■	開通後の長野、東北各地の実情の情報公開。在来線問題の解決。
■	地域住民には在来線の利便が必要であり、これまで以上に充実して頂きたい。
■	金沢止まりの新幹線及びサンダーバードの金沢止まりは富山・金沢の都市間競争において絶対的に金沢の優位性が確保される。これに対する対抗策が急務と考える。
■	他所から来る方も楽しく感じる、且つ個性の光る街作りを進めて欲しい。
■	行政一体（県、市町村）のＰＲ活動を望む。
■	大阪への延伸を実現する。富山を題材とした小説、絵画、写真、歌他を地元の人、全国から毎年募集する。
■	開業は大変うれしい事ですが、余りにも時間が掛かり過ぎ。効果が少ないと思います。（時代の変化）
■	大阪・名古屋方面へのアクセスが非常に悪くなる。早朝に金沢以西の東海道新幹線への乗り入れが可能となるよう働き掛けてください。
■	観光拠点（アルペンルート、五箇山、etc）への二次交通手段の整備にお力添えを。
■	関西方面の在来線問題
■	教育関係者への「おもいやりの心」を教育面でも育成する。それがやがて自然に、必然的に富山県が良くなる。
■	スピード感ある行動が必要
■	①観光「食」の部分で東京に通用するような商品開発、プロモーション展開が必要②あらゆる分野で「デザイン」の向上が必要
■	在来線対策
■	開通。
■	大阪方面への乗り換えは金沢乗換えになるのか？
■	新幹線についてはプラス面よりマイナス面が気になる、対策をしっかり行って欲しい。
■	不言実行、年中無休で働きお役所仕事では良くないと思う。
■	行政（県・市）と民間が一体となっての課題への取り組み
■	交流人口の増大に向けて積極的な取り組みを期待する。
■	少子高齢化、若年失業者、デフレ対策
■	日本の中心にあり、日本全国宅配料が安い。災害に強い。自然環境が良いなどもっとＰＲすべきである。
■	在来線の問題を早く処理する。
■	在来線の利便性向上の為の投資、運営の工夫が地域全体の活性化に必須
■	通過県にならないようにしてほしい。
■	停車本数を多くして頂きたい。駅構内をもっと楽しくしてもらいたい。

■	富山県の観光スポットはバラへ、これを集約さる方向を検討下さい。
■	首都圏との交流の拡大
■	それほどの変化が見込めないように思える。想像がつかない。活性する商工と生活円滑との差が出てきそうな気がする。
■	金沢以西～大阪迄の全線開通
■	新幹線が必要なのか疑問。関西まで早く開通して欲しい。
■	大阪まで早期開通しないと意味が無い。
■	ご苦労様です。今の方針で良いと思います。
■	JR富山駅での案内サービスの充実。
■	関西方面のサンダーバードを富山発着にして欲しい。
■	京都までの延伸を進めていただきたい
■	在来線が不便にならないようにして欲しい。
■	富山が通過駅にならないように魅力ある県づくりを。

②県内在住者（一般）対象アンケート調査結果

■調査概要

対象：当所議員企業、部会企業、県内調査協力企業の県内在住の従業員

調査期間：平成 23 年 8 月～10 月

送付数：3,680 枚（回収数 1871 枚、回収率 51%）

※四捨五入の関係上%合計が 100 にならない場合があります。

◆性別（既婚・未婚）

性別		件数	%
男性		**1,108**	**59.2**
	未婚	240	12.8
	既婚	868	46.4
女性		**763**	**40.8**
	未婚	316	16.9
	既婚	447	23.9
合計		1,871	100.0

◆子供

子供	件数	%
ある	1,216	65.0
なし	655	35.0
合計	1,871	100.0

◆お住まい

住まい	件数	%
富山市	1,402	74.9
県東部	242	12.9
県西部	227	12.1
合計	1,871	100.0

◆年代

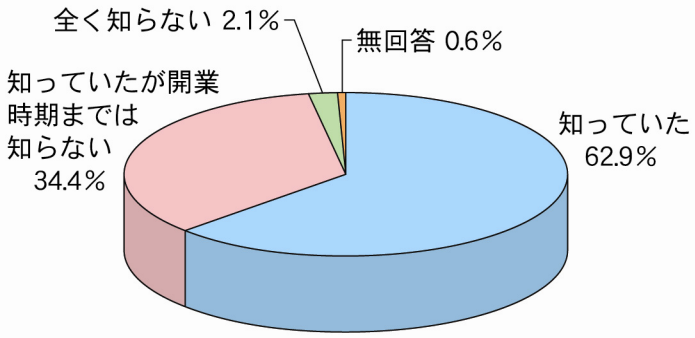
年代	件数	%
10 代	17	0.9
20 代	272	14.5
30 代	462	24.7
40 代	513	27.4
50 代	419	27.4
60 代	173	22.4
70 代	14	0.7
それ以上	1	0.1
合計	1,871	100.0

■結果概要

１．北陸新幹線開業について 97%が「知っている」と回答

北陸新幹線が平成 26 年度末頃に開業予定であることを知っているかと聞いたところ、「知っていた」（６２．９％)、「知っていたが開業時期までは知らない」（３４．４％）となり、これらを合わせた、９７．３％の回答者が北陸新幹線の開業について知っており、高い関心度が窺える。年代別に見ても北陸新幹線の認知度の高さに年代による大きな差はみられなかった（図２－１)。

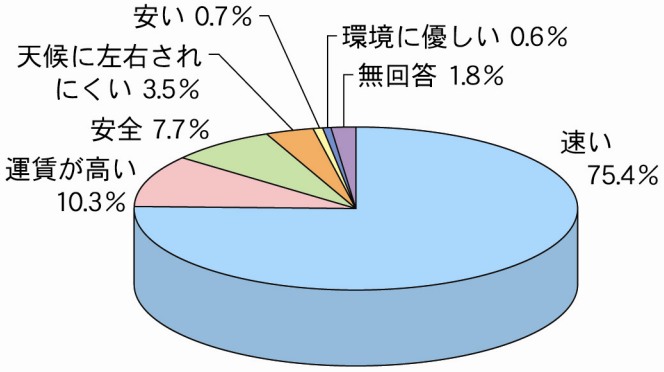
図２－１　北陸新幹線開業を知っていましたか？



２．新幹線のイメージは「速い」

新幹線のイメージについて聞いたところ、「速い」（７５．４％）が最も多く、次いで「運賃が高い」（１０．３％）となり、「速い」というイメージが強いことが窺える（図２－２)。

図２－２　新幹線のイメージ



３．東京方面へは「1 年に 1 回程度」、金沢へは「半年に 1 回程度」訪れる

現在東京、金沢方面へ行く頻度を聞いたところ、

【東京】へは、「1 年に 1 回程」（３６．１％)、次いで「行かない」（２９．７％)「半年に 1 回程度」（２５．２％）となった。

【金沢】へは「半年に 1 回程度」（３９．４)、「1 ヵ月に 1 回程度」（２０．４％)、「1 年に一回程度」（１９．３％）となった。

４.「東京方面」や「金沢」へは観光・レジャー、買い物目的が多い

「東京方面」や「金沢」へ出かける目的及び目的地について複数回答で聞いたところ、【東京】へ出かける目的は、「観光・レジャー」（５３．４％）、次いで「出張」（３３．０％）となっており、目的地も「東京」（７５．３％）が７割を超えている（図２－３）。また、その際の利用交通機関は「ＪＲ」（４７．４％）「飛行機」（２５．１％）「自家用車」（２２．２％）「バス」（９．０％）とＪＲが中心となっている（図２－４）。

図２－３　東京方面へ出かける目的（複数回答）

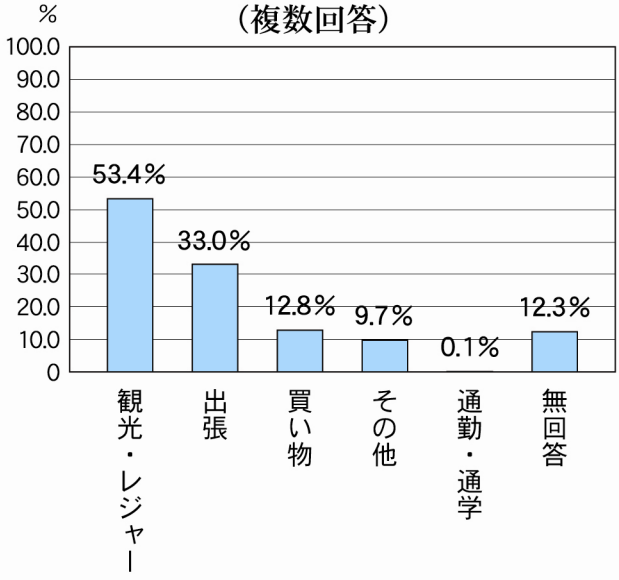
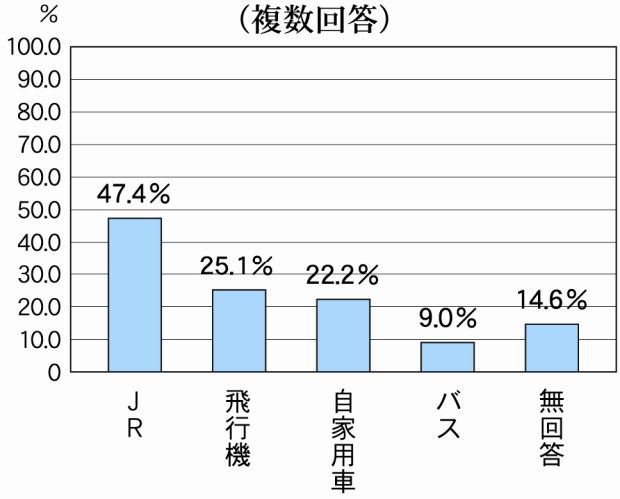


図２－４　東京方面への利用交通機関（複数回答）



【金沢】へ出かける目的や利用交通機関を複数回答で聞いたところ、「買い物」（４３．４％）、次いで「観光レジャー」（３９．９％）、「出張」（１７．２％）となっている（図２－５）。利用交通機関は、「自家用車利用」（７１．０％）との回答が７割を超える結果となった（図２－６）。

図２－５　金沢へ出かける目的（複数回答）

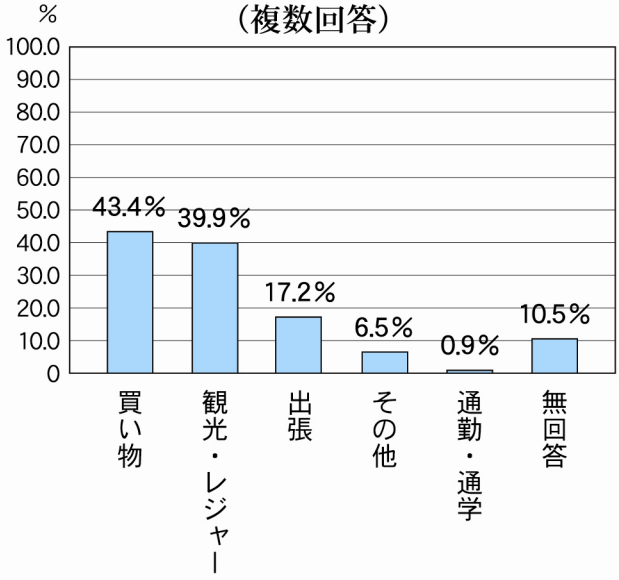
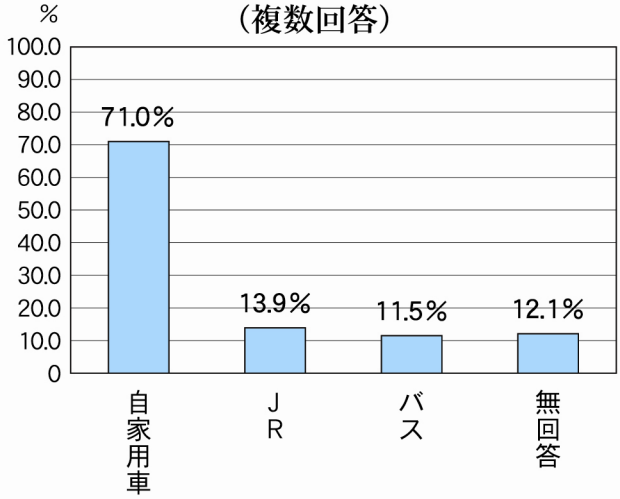


図２－６　金沢への利用交通機関（複数回答）



５．北陸新幹線開業後は、７５．４％が東京へは新幹線を利用する

新幹線開業後の「東京方面」及び「金沢方面」への移動交通機関について聞いたところ

●「東京方面」

【東京】へは現在「ＪＲ」（４７．４％）でトップであるが、北陸新幹線開業後は「新幹線」との回答が７５．４％になった。現在、「飛行機」（２５．１％)利用が１０．８％へ、「自家用車」（２２．２％）利用が７．３％へ、「バス」（９．０％）利用が３．５％に減少し、「飛行機」利用の１４．３ポイント、「自家用車」１４．９ポイント、「バス」は５．５ポイント、それぞれ「新幹線」にシフトする結果となった（図２－７、図２－８）。

図２－７　東京への利用交通機関（複数回答）　現在

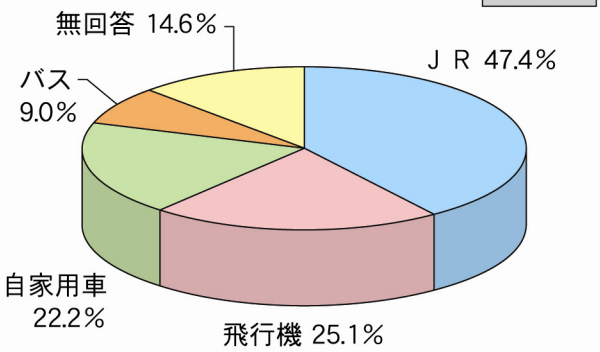
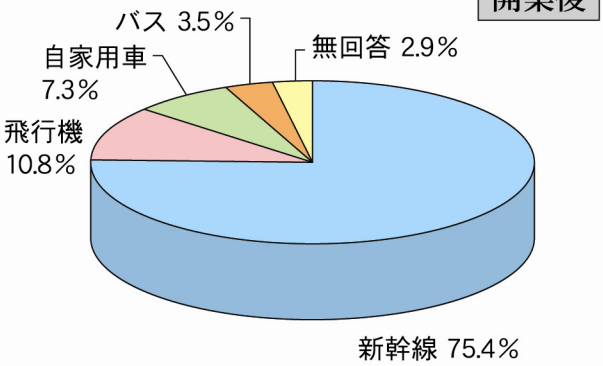


図２－８　東京への利用交通機関（複数回答）　開業後



●「金沢方面」

【金沢】へは現在、「自家用車」（７１．０％）の利用割合が高いが、北陸新幹線開業後は６５．２％へ、「JR」（１３．９％）の利用が１４．４％へ、「バス」（１１．５％）の利用が８．１％へ変化し、「新幹線」との回答は７．７％となった（図２－９、図２－１０）。

図２－９　金沢への利用交通機関（複数回答）　現在

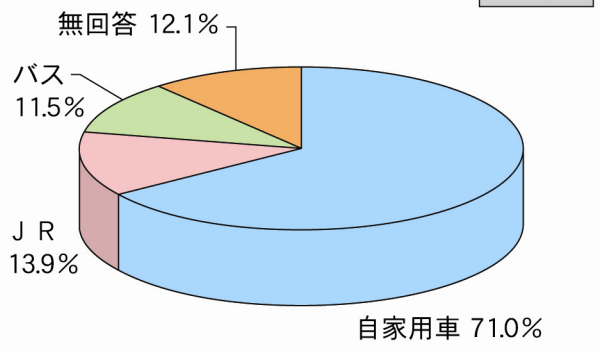
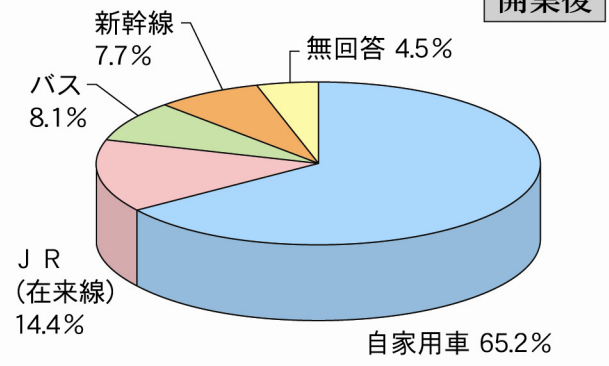


図２－10　金沢への利用交通機関（複数回答）　開業後



６．東京を目的地とする回答が多い

北陸新幹線開業後、沿線エリアで「新幹線」で行くとすれば、その目的地や目的を複数回答で聞いたところ。あらゆる目的で「東京」を目的地とする回答が多く。観光・レジャー目的では、「東京」（７０．９％）、「軽井沢」（３０．０％）、「長野」（１９．２％）という結果になった。また、買い物目的では「東京」（３４．６％）、「金沢」（１５．７％）、「軽井沢」（１４．３％）という結果になった（図２－１１、図２－１２）。

図２－11　観光・レジャー目的で北陸新幹線を利用して沿線で行くとすればどこですか（複数回答）

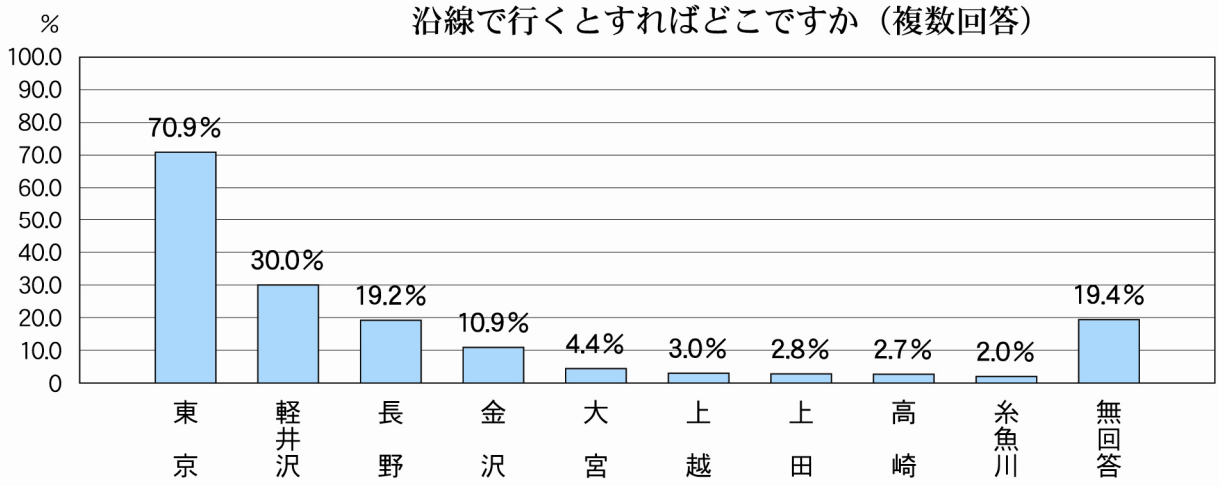
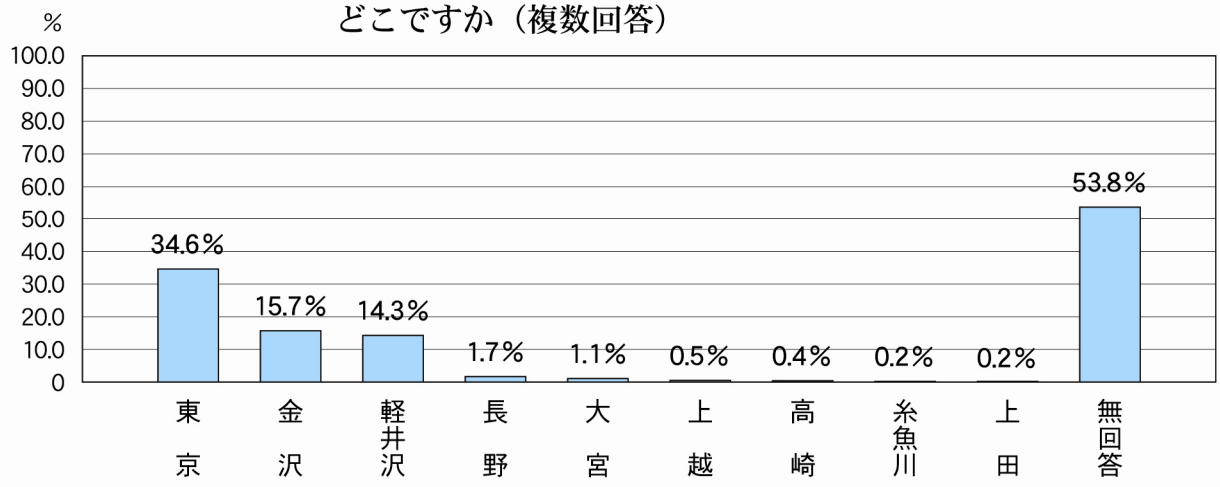


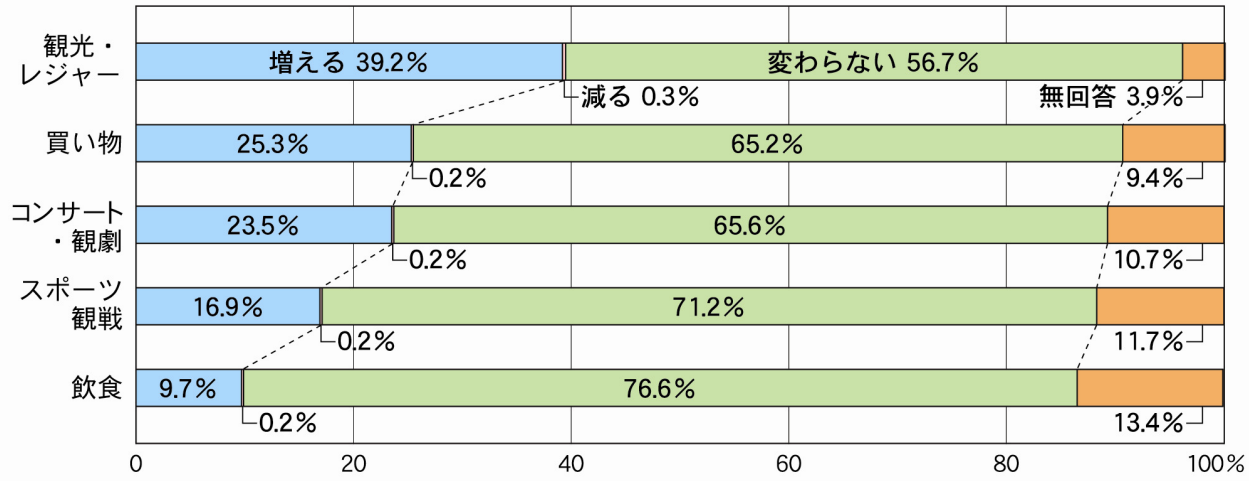
図２－12　買い物目的で北陸新幹線を利用して沿線で行くとすればどこですか（複数回答）



７．東京へ出かける頻度は「変わらない」が多い

北陸新幹線開業後に東京へ出かける頻度の変化について目的別に聞いたところ、
【観光・レジャー】は「増える」（３９．２%）、「減る」（０．３%）、「変わらない」（５６．７%）、
【買い物】は「増える」（２５．３%）、「減る」（０．２%）、「変わらない」（６５．２%）、
【コンサート・観劇】は「増える」（２３．５%）、「減る」（０．２%）、「変わらない」（６５．６%）
【スポーツ観戦】は「増える」（１６．９%）、「減る」（０．２%）、「変わらない」（７１．２%）
【飲食】は「増える」（９．７%）、「減る」（０．２%）、「変わらない」（７６．６%）
という結果になった（図２－１３）。

図２－13　新幹線開業後の東京へ出かける頻度の変化



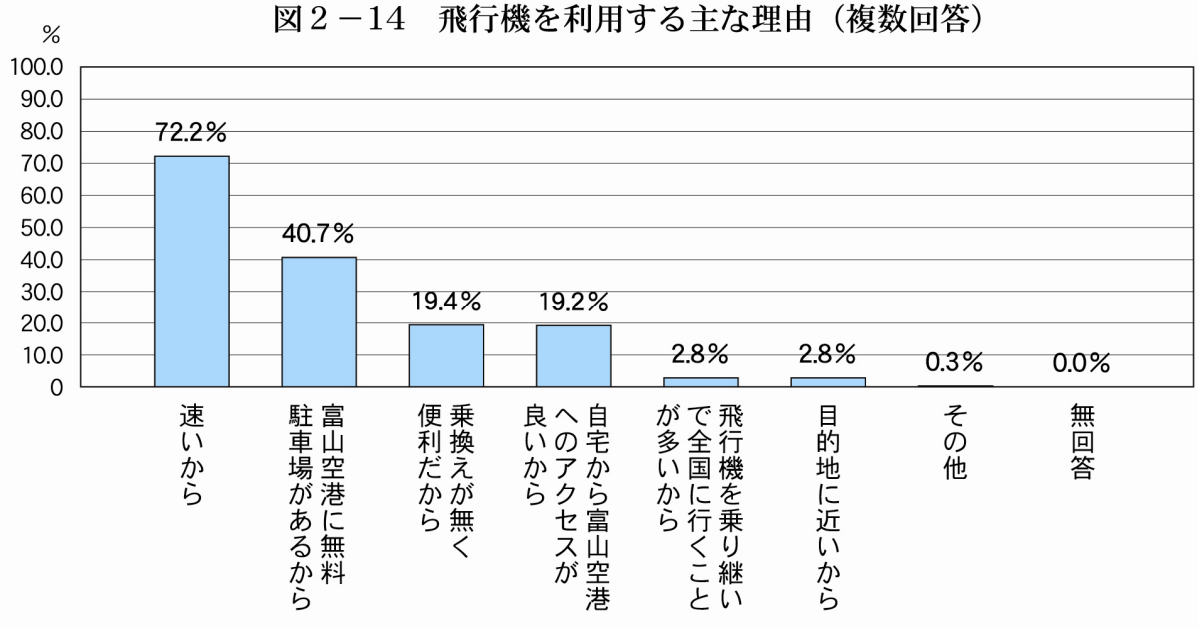
◆以下の設問は、東京への移動に現在「飛行機」との回答者に質問した。

８．飛行機を利用する理由は「速いから」が１位

飛行機を利用する主な理由は何か複数回答で聞いたところ、「速いから」が最も多く、続いて「空港に無料駐車場があるから」、「乗換えが無く便利だから」、「自宅から富山空港へのアクセスが良いから」が続いた（図２－１４）。

現在、富山空港を利用している方は「無料駐車場の存在」や「富山空港への近さ」、「アクセスの良さ」を評価している傾向が窺える。

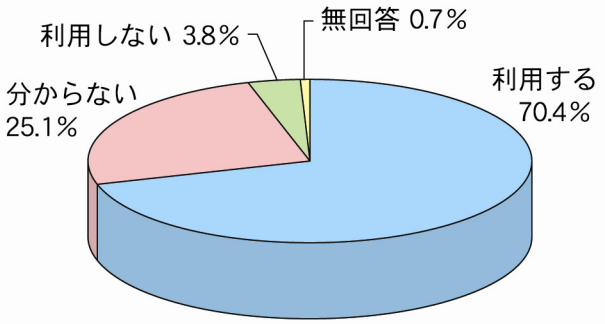
図２－14　飛行機を利用する主な理由（複数回答）



９．北陸新幹線開業後は、７割が「新幹線も利用する」

北陸新幹線開業後、東京方面への移動に新幹線を利用するか聞いたところ、「利用する」（７０．４％）、「分からない」（２５．１％）、「利用しないと」（３．８％）との結果になった。回答者の約７割を占める飛行機利用者が、北陸新幹線が開業すれば東京への移動手段に捉えている傾向が見える。「利用しない」は、わずか３．８％となった（図２－１５）。

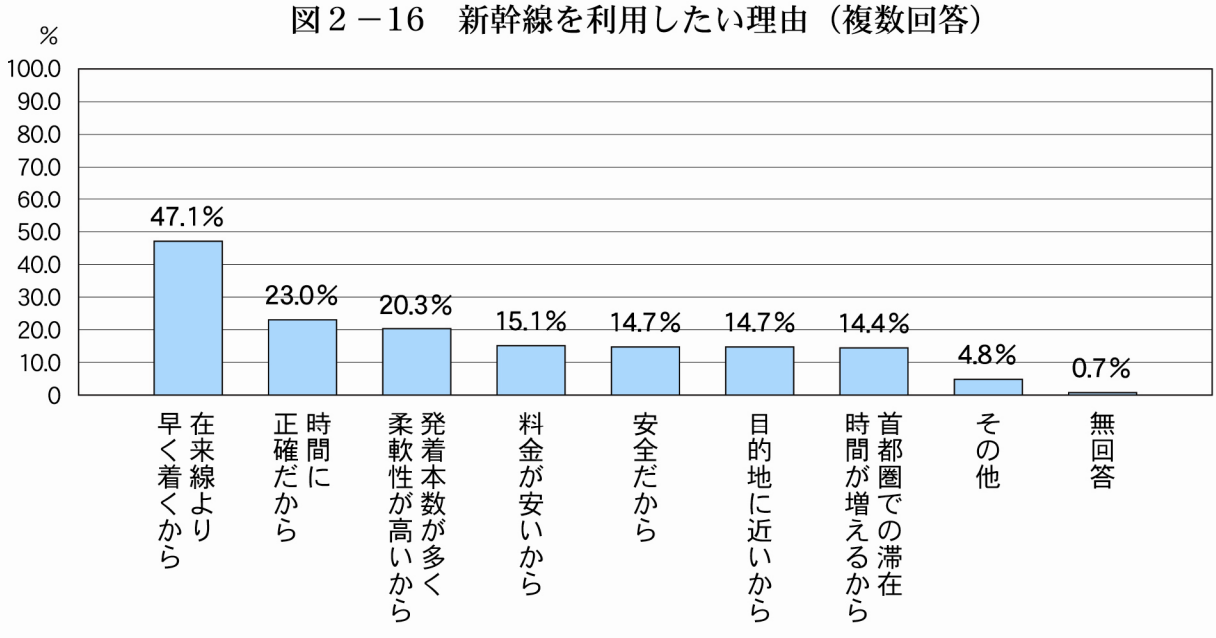
図２－15　新幹線開業後は東京への移動に新幹線を使いますか



10．北陸新幹線を利用する理由は「在来線より早く着くから」

Ｑ９で北陸新幹線を「利用する」との回答者に、その理由を複数回答で聞いたところ、「在来線より早く着くから」が最も多く、次いで「時間が正確だから」、「発着本数が多く柔軟性が高いから」という結果になり、在来線より早く着く北陸新幹線の効果や新幹線自体のメリット（時間に正確、発着数が多い等）について魅力を感じていることが窺える（図２－１６）。

図２－16　新幹線を利用したい理由（複数回答）



③北陸新幹線沿線等の北関東地区の企業経営者対象アンケート調査結果

■調査概要

対象：北陸新幹線沿線商工会議所（さいたま、熊谷、川口、深谷、上尾、高崎、前橋、桐生、伊勢崎、富岡、宇都宮、八王子商工会議所）の会員、議員、部会企業のうち、製造業を中心に依頼した。

調査期間：平成 23 年 8 月～10 月

送付企業数：165 社（回収数 79 社、回収率 48%）

※四捨五入の関係上%合計が 100 にならない場合があります。

◆業種

業種	件数	%
製造	55	69.6
建設	2	2.5
卸売	7	8.9
小売	6	7.6
サービス	9	11.4
合計	79	100.0

◆年商

年商	件数	%
3,000 万円未満	3	3.8
3,000 万円以上～5,000 万円未満	6	7.6
5,000 万円以上～1 億円未満	3	3.8
1 億円以上～10 億円未満	29	36.7
10 億円以上	38	48.1
合計	79	100.0

◆従業員規模

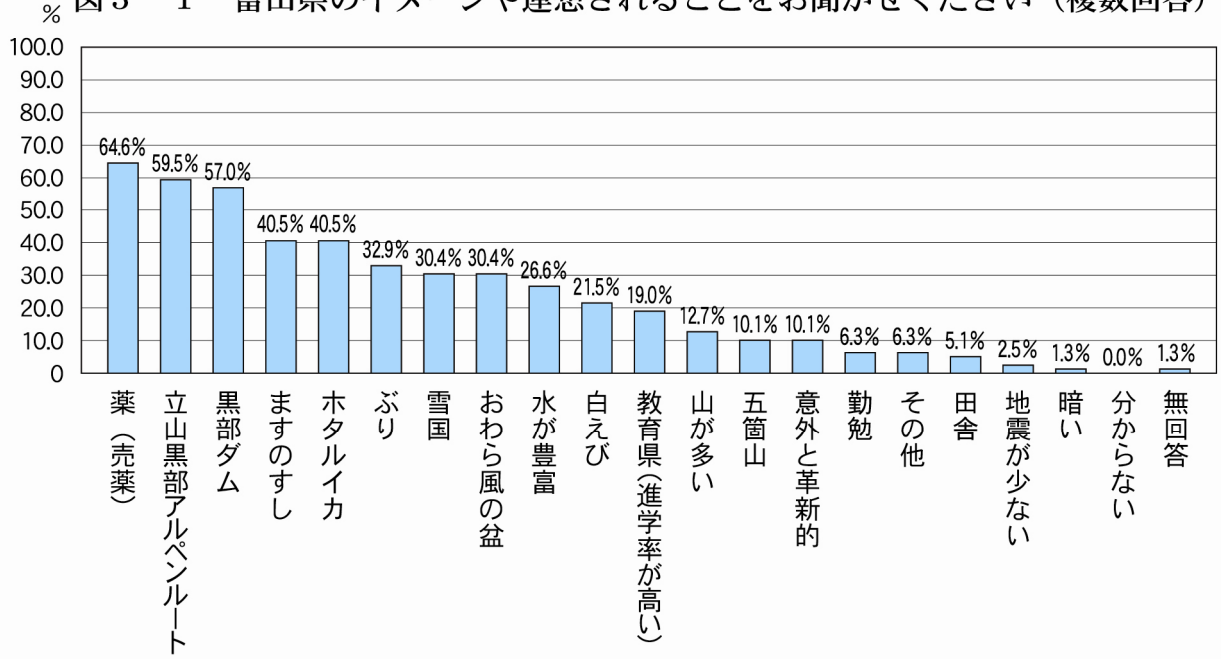
従業員数	件数	%
50 名未満	37	46.8
50 名以上～100 名未満	12	15.2
100 名以上～300 名未満	14	17.7
300 名以上～500 名未満	1	1.3
500 名以上	15	19.0
合計	79	100.0

■結果概要

１．富山県のイメージや連想される事は「薬（売薬）」

富山県のイメージや連想されることについて複数回答で聞いたところ、「薬（薬売り）」（６４．６％）が最も多く、次いで「立山黒部アルペンルート」（５９．５％）、「黒部ダム」（５７．０％）となり、「ますのすし」（４０．５％）、「ホタルイカ」（４０．５％）等が続き、薬や観光、食に関するイメージが強い傾向が窺える結果となった。「分からない」といった回答は無かった（図３－１）。

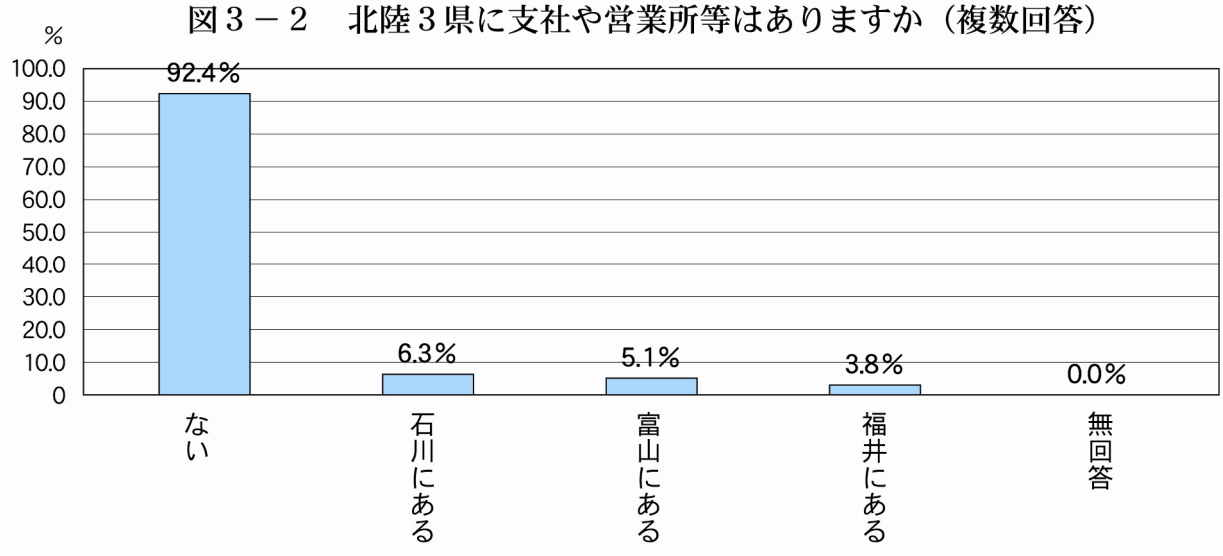
図３－１　富山県のイメージや連想されることをお聞かせください（複数回答）



２．北陸３県に支社や営業所を持つ企業は少ない

北陸３県に支社や営業所の有無について複数回答できいたところ、「ない」（９２．４％）となった（図３－２）。

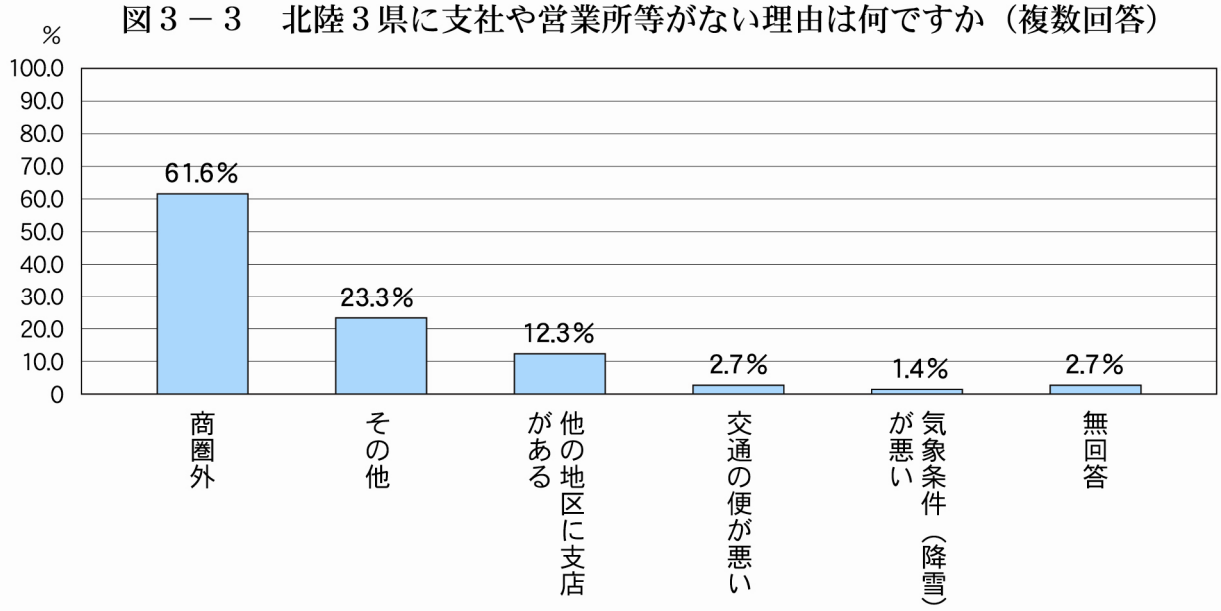
図３－２　北陸３県に支社や営業所等はありますか（複数回答）



３．北陸は対象地区(商圏)として捉えられていない傾向

Ｑ２で北陸３県に支社等が「ない」との回答企業にその理由を複数回答で聞いたところ、「商圏外だから」（６１．６％）が最も多く、次いで「その他」（２３．３％）となった。「その他」の主な意見は、「本社だけで足りている」、「現在地の生産拠点で足りている」、「支店の必要性を感じない」等の理由が挙げられ、次いで「他の地区に支店がある」（１２．７％）と続いた。北陸を対象地区（商圏）として捉えていない傾向が窺える（図３－３）。

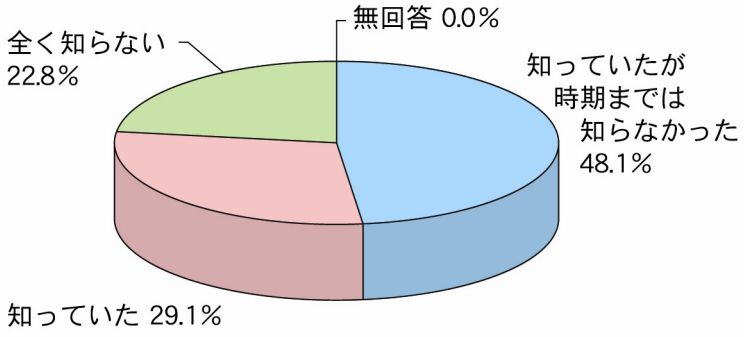
図３－３　北陸３県に支社や営業所等がない理由は何ですか（複数回答）



４．回答者の半数近くが北陸新幹線の開業時期までは知らない

北陸新幹線「金沢～富山～長野駅間」が平成 26 年度末迄に開業予定である事を知っていたか聞いたところ、「知っていたが時期までは知らなかった」（４８．１％）、「知っていた」（２９．１％）、「まったく知らない」（２２．８％）となり、回答者の半分近くが時期までは知らないという結果になった（図３－4）。

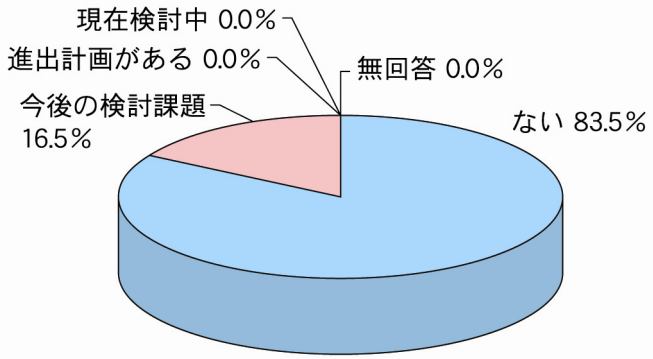
図３－４　北陸新幹線の開業予定を知っていましたか



５．北陸への進出を 13 社が今後の検討課題

新幹線開業後、北陸地方への店舗や工場等の進出を考えているか聞いたところ、「ない」（８３．５％）、「今後の検討課題」（１６．５％）となり、「現在検討中」の回答は無かったが、13 社が「今後の検討課題」と答えている（図３－５）。

図３－５　北陸新幹線開業後、北陸地方への店舗や工場の進出を考えていますか



６．九州、東北新幹線開業後の支店や支社の統廃合、出張回数のへの影響は「ない」との回答が多数

九州、東北新幹線開業後支社や営業所の統廃合、営業マン等の出張回数への影響はあったかと聞いたところ、営業所の統廃合について「ない」（８６．１％）との回答が多くあったものの、「あった」（２．５％）、「今後予定がある」（１．３％）との回答もあった（図３－６）。また、出張回数への影響については、「ない」との回答が多いものの、「出張が増えた」（１０．１％）との回答が１割となっている。ちなみに、「出張が減った」という回答は無かった（図３－７）。

図３－６　九州新幹線や東北新幹線の全線開業により貴社の支社や営業所の統廃合はありましたか

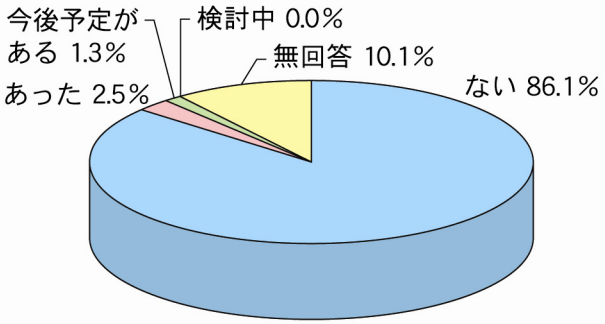
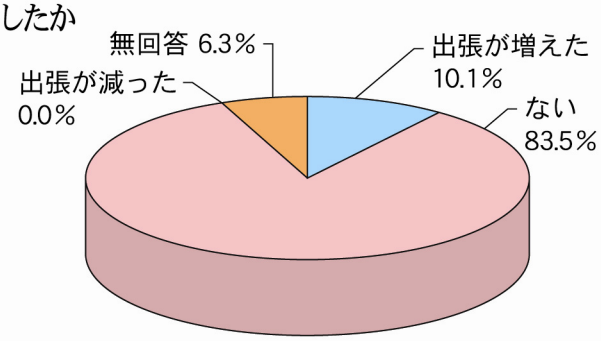


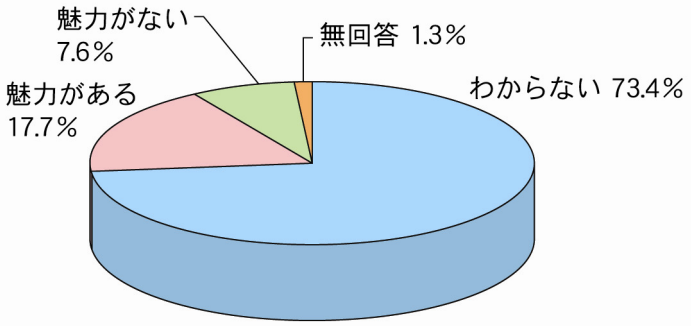
図３－７　九州新幹線や東北新幹線の全線開業により貴社の社員の方々の出張回数に影響はありましたか



７．14 社が企業活動において北陸に魅力を感じると回答

企業活動において北陸に魅力を感じるかと聞いたところ、「わからない」（７３．４％）が最も多く、次いで「魅力がある」（１７．７％)、「魅力がない」（７．６％）となった。14 社の企業が「魅力がある」と回答している。なお、「魅力がある」と回答した企業にその理由を複数回答で聞いたところ、「日本海に面した港がある」、「ものづくりへのこだわりが強い」、「良質な水がある」、「真面目でねばり強い県民性」等の答えが上位に挙げられた（図３－８)。

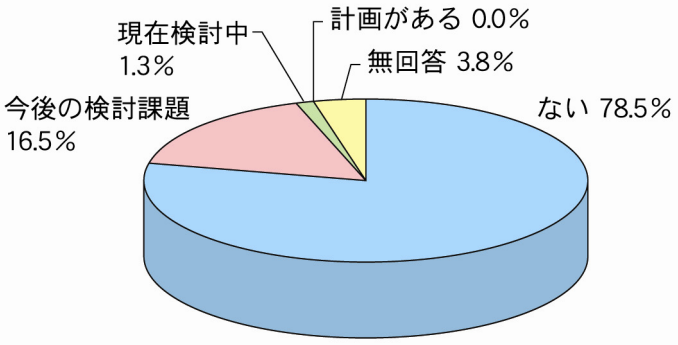
図３－８　企業活動において北陸に魅力を感じますか



８．生産拠点の分散化を考えている企業は少ない

東日本大震災を受けて、生産拠点の分散化等を考えているかと聞いたところ、「ない」（７８．５％）との回答が多かったが、「今後の検討課題」（１６．５％)、「現在検討中(1 社回答)」（１．３％）との回答もあり、検討課題としつつも大多数は現状のままという傾向が窺える。また、検討していると答えた企業（1 社）の候補地は北陸との回答であった（図３－９)。

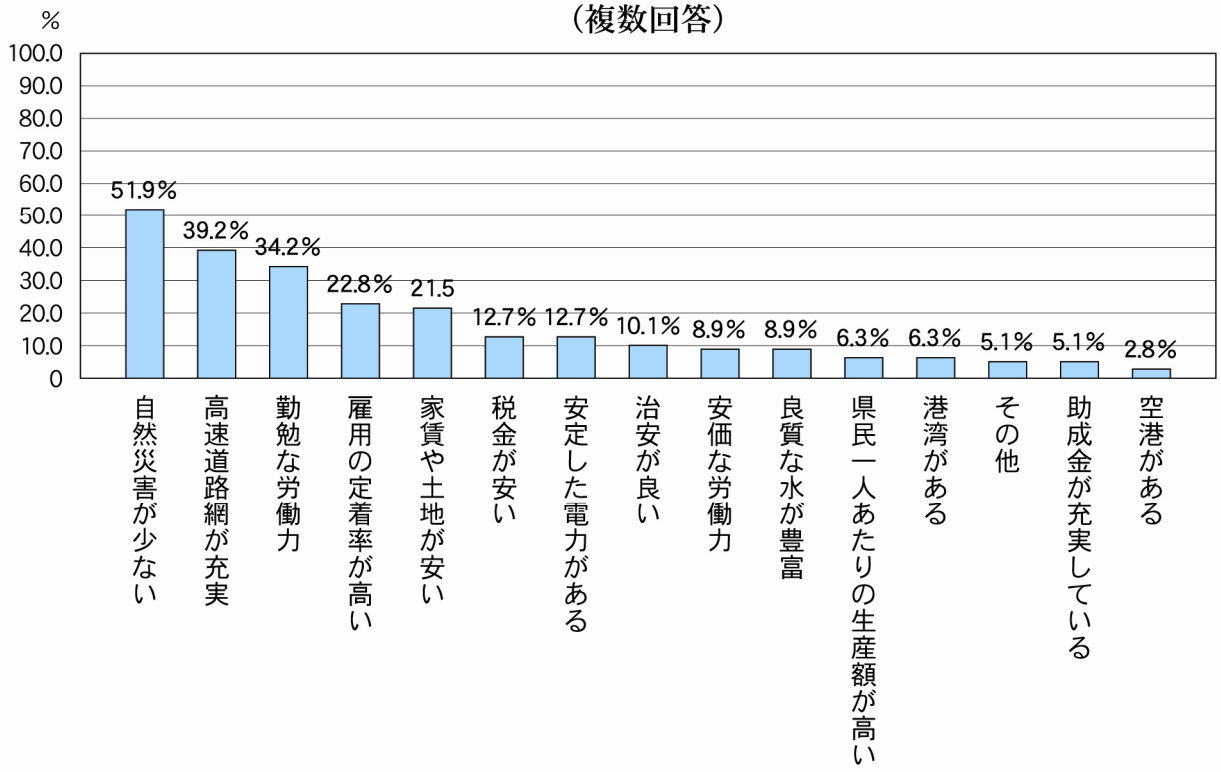
図３－９　生産拠点の分散化をお考えですか



９．企業立地の条件として望まれる事は「自然災害がない」

最後に、企業立地の条件として望まれる事を複数回答で聞いたところ、「自然災害がない」（５１．９％）が最も多く、次いで「高速道路網の充実」（３９．２％）、「勤勉な労働力」（３４．２％）という結果になった（図３－１０）。

図３－10　企業立地の条件として望まれることはどのようなことですか
（複数回答）



○県外経営者アンケートでいただいたご意見	
■	新幹線の開業後の将来の大発展を期待しています（富岡）
■	金沢は知っていたが富山はほとんど知らなかった。行って見ると古さと新しさが調和してよい街だった。城のお堀の船巡りはとても良かった。市電もgood！。Ｂ級グルメもあるのでしょうか？（八王子）
■	金沢から大阪までのルートの早期着工を希望します（深谷）
■	東京圏から見ると、北陸地方はどうしても遠いイメージがある。今後の早期の全線開通を期待しています。（上尾）

④北陸新幹線沿線等の北関東地区及び首都圏の在住者（一般）対象アンケート調査結果

■調査概要

対象：北陸新幹線沿線等の商工会議所職員ほか

調査期間：平成 23 年 8 月～10 月

送付数：440 枚（回収数 409 枚、回収率 93%）

※四捨五入の関係上%合計が 100 にならない場合があります。

◆性別（既婚・未婚）

性別		件数	%
男性		**220**	**53.8**
	未婚	52	12.7
	既婚	168	41.1
女性		**189**	**46.2**
	未婚	112	27.4
	既婚	77	18.8
合計		409	100.0

◆子供

子供	件数	%
ある	208	50.9
なし	201	49.1
合計	409	100.0

◆お住まい

住まい	件数	%
埼玉	116	28.4
群馬	89	21.8
栃木	20	4.9
東京	120	29.3
千葉	26	6.4
神奈川	36	8.8
その他	2	0.5
合計	409	100.0

◆年代

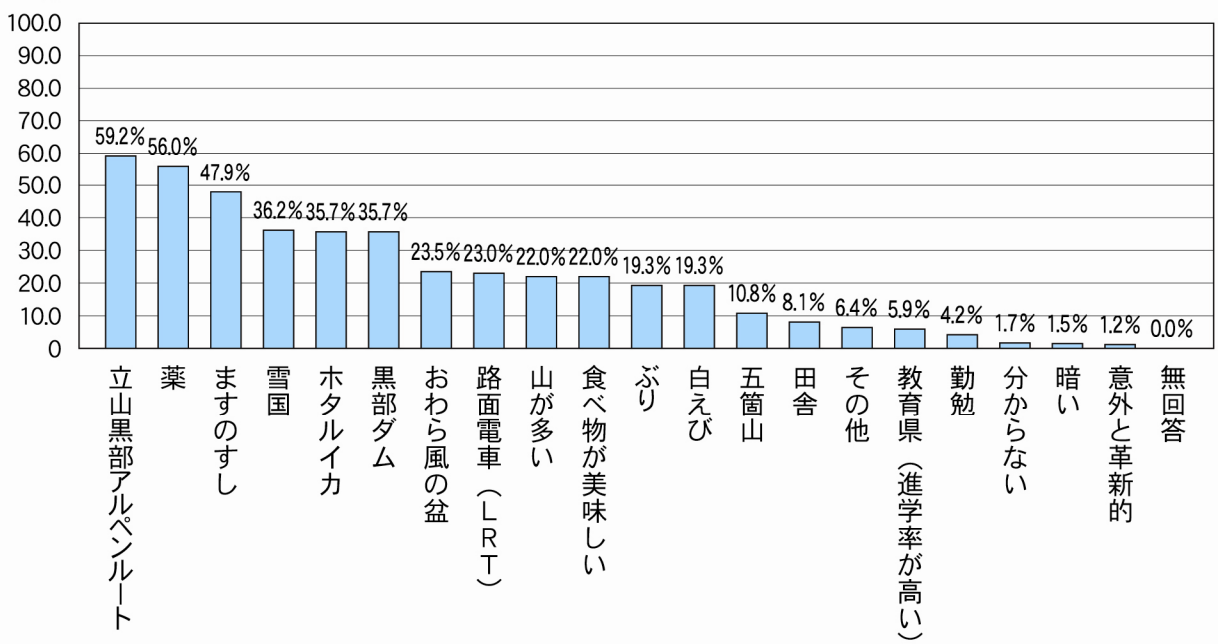
年代	件数	%
10 代	2	0.5
20 代	54	13.2
30 代	123	30.1
40 代	122	29.8
50 代	90	22.0
60 代	16	3.9
70 代	2	0.5
それ以上	0	0.0
合計	409	100.0

■結果概要

１．富山県のイメージや連想されることの１位は「立山黒部アルペンルート」

富山県のイメージや連想されることについて複数回答で聞いたところ、「立山黒部アルペンルート」（５９．２%）が最も多く、次いで「薬」（５６．０%）、「ますのすし」（４７．９%）となり観光、食に関する回答が多くみられた（図４－１）。

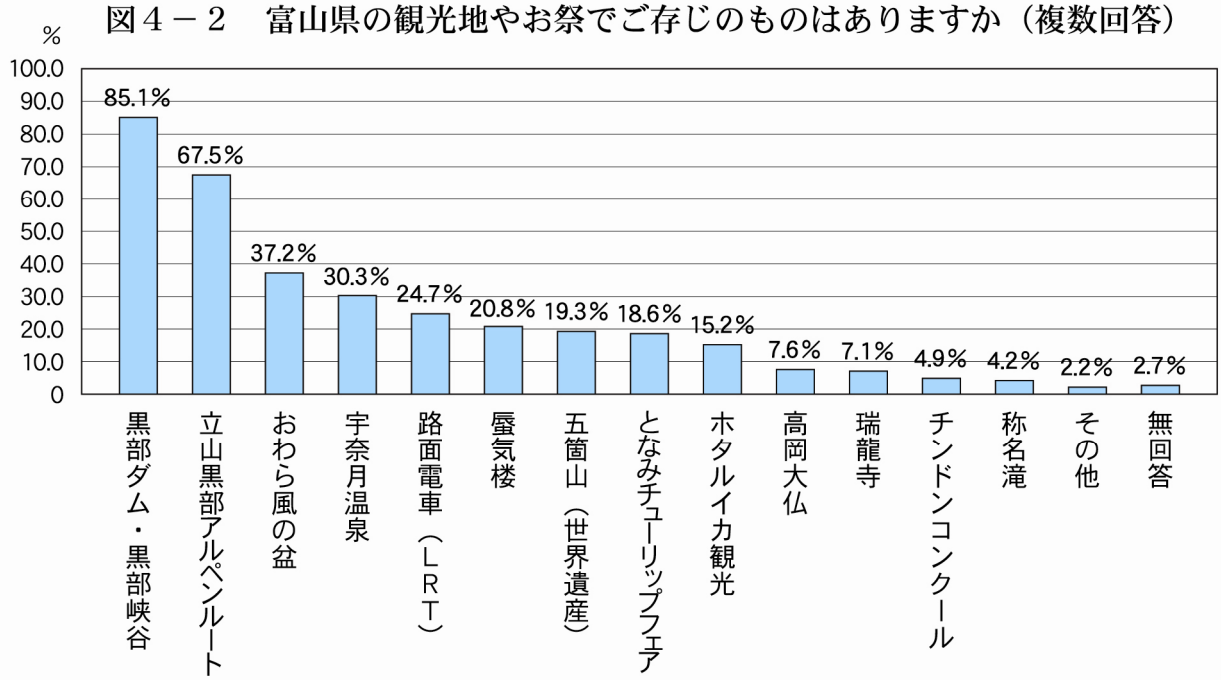
図４－１　富山県のイメージや連想されることをお聞かせください（複数回答）



２．富山県の観光地やお祭りの知名度の１位は「黒部ダム・黒部峡谷」

富山県の観光地やお祭りでご存じのものはあるか複数回答で聞いたところ、「黒部ダム・黒部峡谷」（８５．１%）が最も多く、次いで「立山黒部アルペンルート」（６７．５%）、「おわら風の盆」（３７．２%）となり、「立山黒部」の知名度の高さが窺える結果となった（図４－２）。

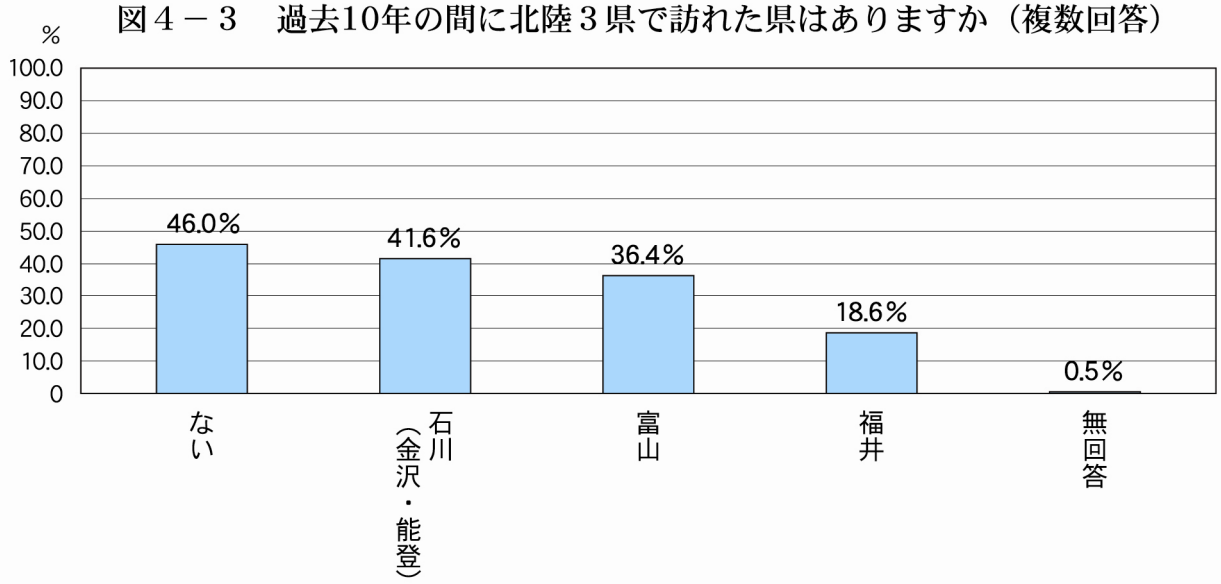
図４－２　富山県の観光地やお祭でご存じのものはありますか（複数回答）



３．北陸３県で訪れた県は「ない」が最も多い

過去10年間の間に北陸３県で訪れた県はありますかと複数回答できいたところ、「ない」（４６．０％）、次いで「石川（金沢・能登）」（４１．６％）「富山」（３６．４％）、「福井」（１８．６％）となった（図４－３）。

図４－３　過去10年の間に北陸３県で訪れた県はありますか（複数回答）



４．富山を訪れた目的は観光・レジャー

Ｑ３で「富山」との回答者に、その回数や目的、誰と、利用交通機関を聞いたところ、

【回数】は、「１回」（５７．０％）、「２回」（２１．５％）、「３回」（１０．７％）となった（図４－４）。

【目的】は、「観光・レジャー」（５９．７％）、「ビジネス」（３０．２％）、「親戚・友人がいたから」（４．７％）となり「ビジネス」の目的より「観光・レジャー」での来県が多い結果になった（図４－５）。

【誰と】は、「家族」（３８．９％）、「友人」（１６．８％）、「１人」（１６．１％）となった（図４－６）。

【交通機関】は、「ＪＲ」（３４．９％）、「自家用車」（３３．６％）、「バス」（１４．１％）との結果になった（図４－７）。

図４－４　富山を訪れた回数

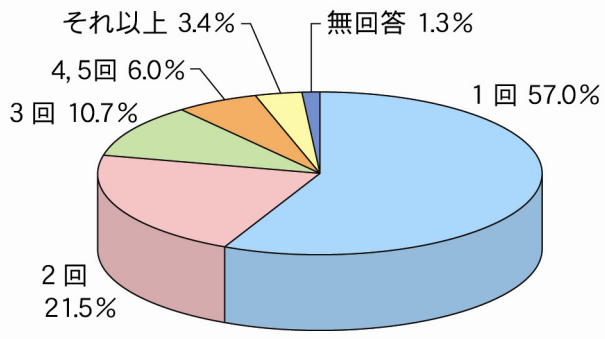


図４－５　富山を訪れた目的

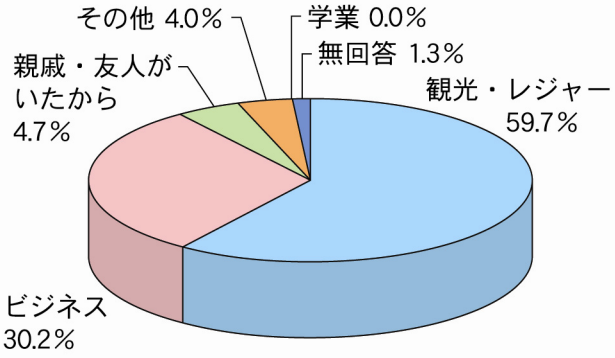


図４－６　富山に誰と訪れましたか

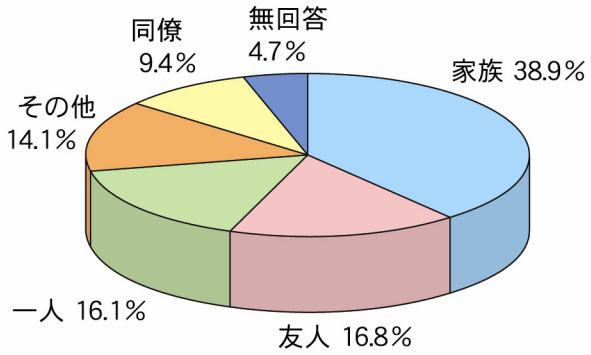
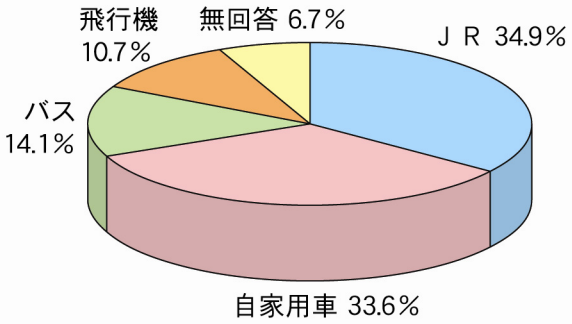


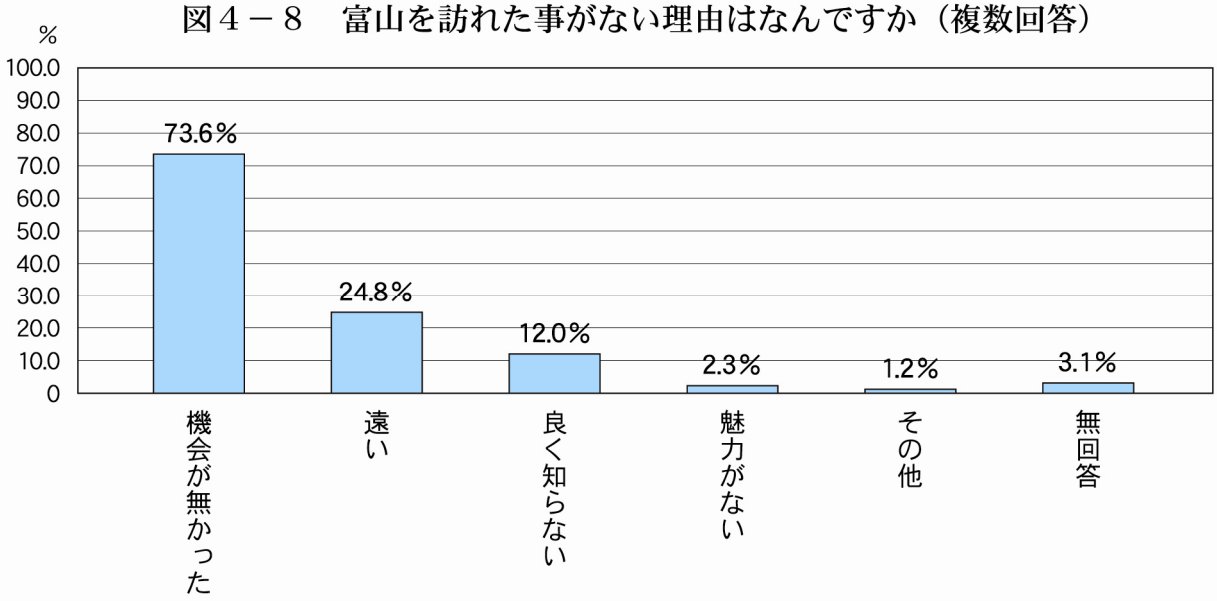
図４－７　富山に訪れるのに利用した交通機関はなんですか



５．富山を訪れた事のない理由は「機会が無かった」

Ｑ３で富山に「訪れたことのない」との回答者に、その理由を複数回答で聞いたところ、「機会が無かった」（７３．６％）が最も多く、次いで「遠い」（２４．８％）、「良く知らない」（１２．０％）との結果になった（図４－８）。

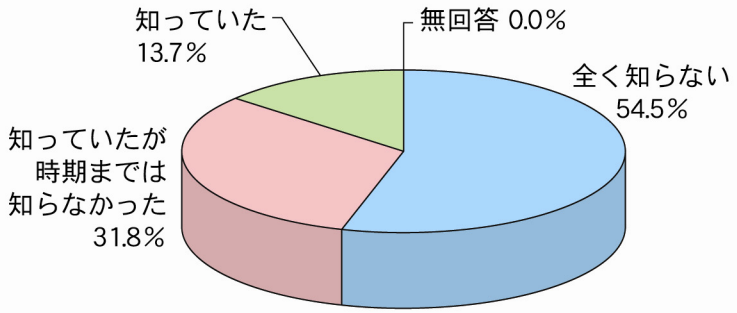
図４－８　富山を訪れた事がない理由はなんですか（複数回答）



６．北陸新幹線開業について半数以上が「知らない」

北陸新幹線「金沢～富山～長野駅間」が平成 26 年度末頃に開業予定であることを知っているか聞いたところ、「全く知らない」（５４．５％）が最も多く、次いで「知っていたが開業時期までは知らない」（３１．８％）、「知っていた」（１３．７％）と、回答者の半数以上が「知らない」との結果になった（図４－９）。

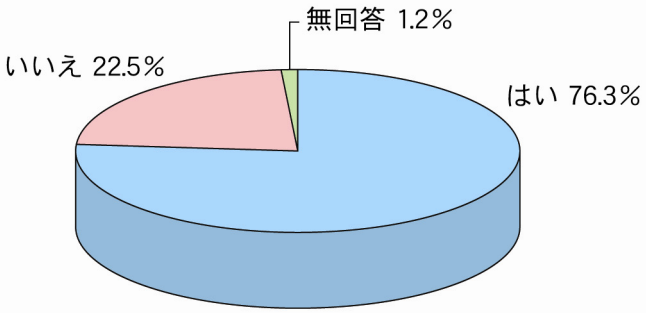
図４－９　北陸新幹線の開業予定を知っていましたか



７．７割の回答者が北陸新幹線開業後は「富山」に行ってみたいと回答

北陸新幹線が開業したら「富山」に行ってみたいか聞いたところ、「はい」（７６．３％）、「いいえ」（２２．５％）となり、7割の回答者が「行ってみたい」と回答している（図４－１０）。

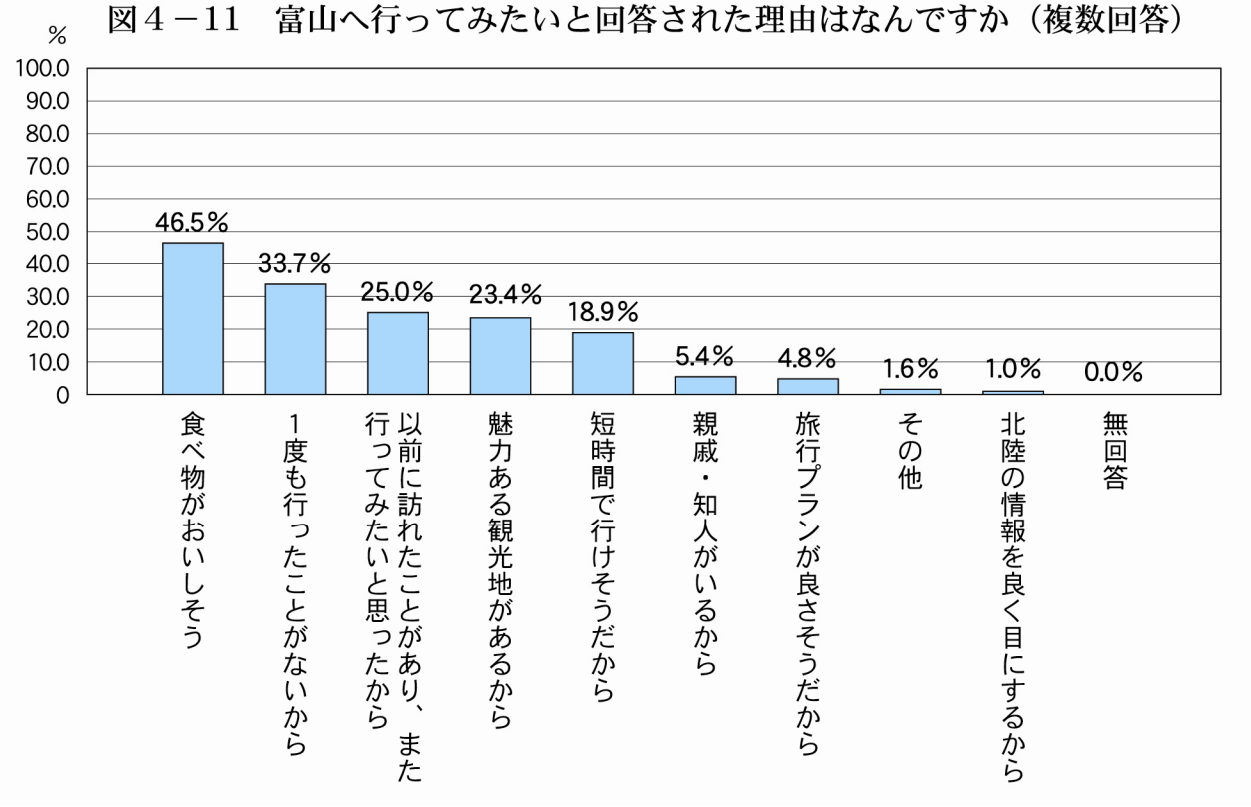
図４－10　北陸新幹線が開業したら富山に行ってみたいですか



８．富山に行ってみたい理由は、食への関心

Ｑ７で「はい」との回答者にその理由を複数回答で聞いたところ、「食べ物がおいしそう」（４６．５％）が最も多く、次いで「1度も行った事がないから」（３３．７％）、「以前に訪れたことがあり、また行ってみたいと思ったから」（２５．０％）となった（図４－１１）。

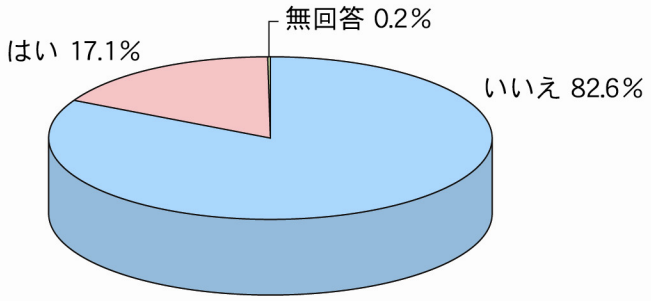
図４－11　富山へ行ってみたいと回答された理由はなんですか（複数回答）



９．飛騨高山へのアクセスの良さは、８割以上が「知らない」

「立山黒部アルペンルート」や「飛騨高山」へは富山からの移動が便利であることを知っているか聞いたところ、「いいえ」（８２．６％）、「はい」（１７．１％）と８割以上が「知らない」と答える結果となった（図４－１２）。

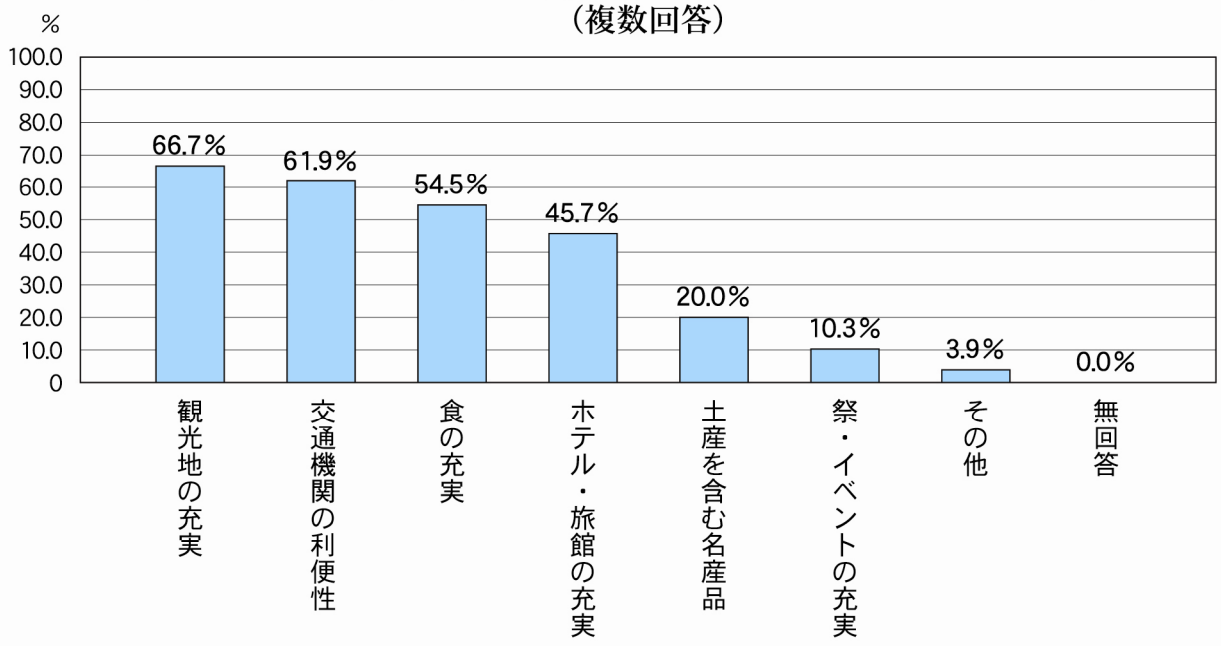
図４－12　「立山黒部アルペンルート」や「飛騨高山」へは富山からの移動が便利であることをご存知でしたか



10. 旅行する際に重要視するものは「観光地の充実」

旅行する際に重要視されることは、どのようなことか複数回答で聞いたところ、「観光地の充実」（６６．７％）が最も多く、次いで「交通機関の利便性」（６１．９％）、「食の充実」（５４．５％）となり、観光名所や施設、商品等や関東からの交通の利便性を重要視している傾向が窺える（図４－１３）。

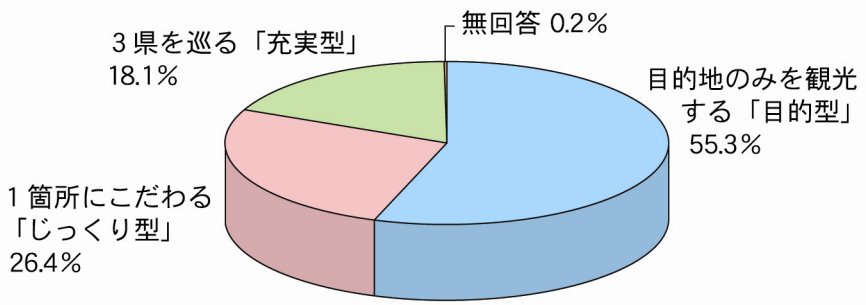
図４－13　旅行する際に重要視されることは、どのようなことですか
（複数回答）



11. 観光は「目的型」を選ぶ傾向

北陸方面に旅行するとしたら、どの旅行スタイルを選ぶか聞いたところ、「目的地のみを観光する目的型」（５５．３％）、「1カ所にこだわるじっくり型」（２６．４％）、「3県を巡る充実型」（１８．１％）となり、回答者の半数以上が「目的型」と答える結果となった（図４－１４）。

図４－14　北陸方面に旅行するとしたら、どの旅行スタイルを選びますか



【アンケート調査票①】

北陸新幹線開業に関するアンケート調査のお願い

企業経営者の皆様へ

平成２３年８月吉日
富山商工会議所
北陸新幹線・地域活性化プロジェクトチーム

日頃から、富山商工会議所の事業について格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、北陸（富山・金沢）と首都圏を結ぶ「北陸新幹線」は、平成26年度末迄に「金沢～富山～長野駅間」が開業する予定であり、これにより北陸と首都圏が「乗り換えなし」で、「短時間」で結ばれることから、新幹線の開業により、沿線の各地に様々な変化がもたらされると考えられます。
つきましては、北陸新幹線が県内に及ぼす影響などを把握するため、大変恐縮に存じますが、下記のアンケート調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。
なお、調査結果は当調査以外の目的には使用いたしません。

以下、該当する数字に○印をつけてください。

◆貴社についてお聞きします。

業種	①製造 ②建設 ③卸売 ④小売 ⑤サービス	年商	①3,000 万未満 ②3,000 万～5,000 万未満 ③5,000 万～１億未満 ④１億～10 億未満 ⑤10 億以上	従業員数（パート含む）	①50 名未満 ②50～100 名未満 ③100～300 名未満 ④300～500 名未満 ⑤500 名以上

北陸新幹線についてお聞きします。

Ｑ１　新幹線のイメージをお聞かせください（上位２つをお選びください）。
①速い　②安全　③安い　④天候に左右されにくい　⑤環境に優しい　⑥運賃が高い

Ｑ２　地域社会に対する影響はあると思いますか。
①ある　②多少ある　③あまりない　④ない

Ｑ３　Ｑ２．で「①ある」「②多少ある」とお答えの方にお聞きします。どのような影響が考えられますか（複数回答可）。
【プラス面では】
①交流人口の増加　②観光客増加　③経済波及効果の増大　④情報の迅速化　⑤知名度アップ
⑥定住人口の増加　⑦企業誘致の増加　⑧駅がきれいになる　⑨駅前地区の開発増
⑩南北の行来が活発化　⑪その他（　　）
【マイナス面では】
①ストロー現象　②在来線問題　③都市間競争の激化　④企業間競争の激化　⑤観光客の減少
⑥空港路線の縮小　⑦支店撤退/統廃合の増　⑧その他（　　）

裏面へ続く→

Ｑ４　貴社への影響についてお聞きします。

（１）　商圏の変化はありますか。

①ある　②多少ある　③ほとんどない　④ない　⑤わからない

（２）　貴社の売り上げに対する変化があるとお考えですか。

①かなり伸びる　②多少伸びる　③変化なし　④少しは減る　⑤かなり減る　⑥わからない

（３）　開業後の支店支社の統廃合を考えていますか。

①ある　②検討中　③ない　④わからない

（４）　開業後の支店進出(東京、金沢等)の可能性はありますか。

①ある（場所：　　）　②検討中　③ない　④わからない

（５）　開業後に向けた新たな取り組みがあれば教えてください。

①新商品開発　②新店舗の出店　③県外進出　④新分野進出　⑤特に予定はない
⑥わからない　⑦その他（　　）

■首都圏への出張について

Ｑ５　現在の東京方面への出張頻度はどれくらいですか。

①年に１回程度　②半年に１回程度　③１ヵ月１回程度　④1 週間に１回程度

Ｑ６　現在の東京方面への移動手段は何ですか。

①飛行機　②バス　③電車　④自動車

Ｑ７　北陸新幹線開業後は、どの交通機関で東京方面に移動しますか。

①飛行機　②バス　③新幹線　④自動車

Ｑ８　北陸新幹線の開業により、貴社の出張に影響はありますか。

①増える　②減る　③変わらない

Ｑ９　その理由として、以下の中から該当するものをお選びください（複数回答可）。

①商圏が広がるから　②移動時間が短縮するから　③飛行機の利用が多いから
④自動車、バス等の利用が多いから　⑤支店等の統廃合が進むから　その他（　　）

■その他

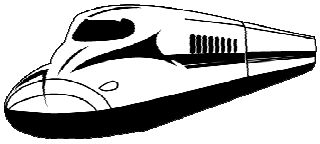
Q10　北陸新幹線開業に向けて、必要なことはどのようなことだとお考えですか（複数回答可）。

①県内観光ルートの開発　②中心市街地の活性化　③駅周辺の整備　④バスなど二次交通の整備
⑤産業振興　⑥人材育成　⑦広域観光　⑧その他（　　）

Q11　その他、行政（国、県、市）や商工会議所等に対するご意見ご要望があればお聞かせください。

（　　）

～ご協力ありがとうございました。～



■お問合せ先（返送先）
富山商工会議所/北陸新幹線・地域活性化プロジェクトチーム
〒930-0083　富山市総曲輪 2-1-3　☎076-423-1111（代）FAX076-423-1114

【アンケート調査票②】

北陸新幹線開業に関するアンケート調査のお願い

県内にお住まいの皆様へ

平成２３年８月吉日
富山商工会議所
北陸新幹線・地域活性化プロジェクトチーム

日頃から、富山商工会議所の事業について格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、北陸（富山・金沢）と首都圏を結ぶ「北陸新幹線」は、平成26年度末迄に「金沢～富山～長野駅間」が開業する予定であり、これにより北陸と首都圏が「乗り換えなし」で、「短時間」で結ばれることから、新幹線の開業により、沿線の各地に様々な変化がもたらされると考えられます。

つきましては、北陸新幹線が県内に及ぼす影響などを把握するため、大変恐縮に存じますが、下記のアンケート調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、調査結果は当調査以外の目的には使用いたしません。

以下、該当する数字に○印をつけてください。

◆あなたのことについてお伺いいたします。

性　別	①男性　(①未婚　②既婚) ②女性　(①未婚　②既婚)	子供	①　有 ②　無	お住い	①富山市 ②県東部　　③県西部
年　代	①10 代 ②20 代 ③30 代 ④40 代 ⑤50 代 ⑥60 代 ⑦70 代 ⑧それ以上				

Ｑ１　北陸新幹線「金沢～富山～長野駅間」が平成 26 年度末迄に開業予定であることをご存じでしたか。

①知っていた　　②知っていたが開業時期までは知らない　　③まったく知らない

Ｑ２　新幹線のイメージをお聞かせください。（１つお選びください）

①速い　②安全　③安い　④天候に左右されにくい　⑤環境に優しい　⑥運賃が高い

Ｑ３　現在、東京方面または金沢へ行く頻度をお聞かせください。

東京方面	①1 週間に 1 回以上	②1 ヶ月 1 回程度	③半年に 1 回程度	④1 年に 1 回程度	⑤行かない
金　　沢	①1 週間に 1 回以上	②1 ヶ月 1 回程度	③半年に 1 回程度	④1 年に 1 回程度	⑤行かない

Ｑ４　東京方面または金沢方面へお出かけになる際の目的（複数回答可）、最も利用する交通機関は何ですか。

東京方面	目的	①出張　②通勤・通学　③観光・レジャー　④買い物　⑤その他（　　）
	目的地	①東京　②神奈川　③埼玉　④高崎（群馬）　⑤長野　⑥上越
	交通機関	①飛行機　②JR　③バス　④自家用車
金　　沢	目的	①出張　②通勤・通学　③観光・レジャー　④買い物　⑤その他（　　）
	交通機関	①JR　②バス　③自家用車

裏面へ続く➔

【アンケート調査票②】

Ｑ５　北陸新幹線開業後、「東京～富山駅間」が乗り換えなしで所要時間 2 時間 7 分に、「金沢～富山駅間」が 15 分に短縮されますが、移動交通機関としてどれを利用しますか。(各１つ選んでください)

東京方面	①飛行機　②新幹線　③バス　④自家用車
金沢方面	①ＪＲ（在来線）　②新幹線　③バス　④自家用車

Ｑ６　北陸新幹線開業後、沿線エリアで「新幹線」で行くとすればどこですか。また、その目的は何ですか。該当箇所に○印をつけてください。(複数回答可)

	金沢	糸魚川	上越	長野	上田	軽井沢	高崎	大宮	東京
通勤・通学									
観光・レジャー									
買い物									
その他									

Ｑ７　北陸新幹線開業後、「新幹線」を利用して東京への出掛ける頻度はどのようになりますか。目的別にお答えください。

目的	頻度		
1. 観光・レジャー	①増える	②減る	③変わらない
2. 買い物	①増える	②減る	③変わらない
3. コンサート・観劇	①増える	②減る	③変わらない
4. スポーツ観戦	①増える	②減る	③変わらない
5. 飲食	①増える	②減る	③変わらない

■以下、東京への移動に現在「飛行機」を利用されている方にお聞きします

Ｑ８　飛行機を利用する主な理由は何ですか。(複数回答可)

①速いから　②目的地に近いから　③便利だから（乗り換えの必要がない）
④富山空港に無料駐車場があるから　⑤飛行機を乗り継いで全国へ行くことが多いから
⑥自宅から富山空港へのアクセスが良いから(自宅から空港へ何分ですか：　分)
⑥その他（　　）

Ｑ９　北陸新幹線開業後、東京方面の移動に「新幹線」を利用しますか。

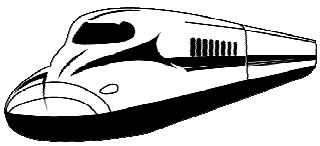
①利用する　②利用しない　③分からない

Q10　Ｑ９．で「新幹線」を「①利用する」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。(複数回答可)

①料金が安いから　②在来線より早く着くから　③目的地に近いから
④安全だから　⑤時間に正確だから　⑥発着本数が多く柔軟性が高いから
⑦首都圏での滞在時間が増える　⑧その他（　　）

～ご協力ありがとうございました。～

■お問合せ先（返送先）
富山商工会議所/北陸新幹線・地域活性化プロジェクトチーム
〒930-0083　富山市総曲輪 2-1-3☎076-423-1111（代）FAX076-423-1114



【アンケート調査票③】

北陸新幹線開業に関するアンケート調査のお願い

富山県外の企業経営者の皆様へ

平成２３年９月吉日
富山商工会議所
北陸新幹線・地域活性化プロジェクトチーム

日頃から、商工会議所の事業について格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、首都圏と北陸（富山・金沢）を結ぶ「北陸新幹線」は、平成26年度末迄に「金沢～富山～長野駅間」が開業する予定であり、これにより首都圏と北陸が「乗り換えなし」で、「短時間」で結ばれることから、新幹線の開業により、沿線の各地に様々な変化がもたらされると考えられます。

つきましては、北陸新幹線が富山県内に及ぼす影響などを把握するため、大変恐縮に存じますが、下記のアンケート調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、調査結果は当調査以外の目的には使用いたしません。

以下、該当する数字に○印をつけてください。

◆貴社についてお伺いいたします。

業種	①製造 ②建設 ③卸売 ④小売 ⑤サービス	年商	① 3,000 万未満 ② 3,000 万～5,000 万未満 ③ 5,000 万～１億未満 ④ １億～10 億未満 ⑤ 10 億以上	従業員数（パート含む）	①50 名未満 ②50～100 名未満 ③100～300 名未満 ④300～500 名未満 ⑤500 名以上

Ｑ１　富山県のイメージや連想されることをお聞かせください（複数回答可）。

①雪国　②田舎　③山が多い　④薬（薬売り）　⑤暗い　⑥ますのすし　⑦白えび　⑧ぶり
⑨ホタルイカ　⑩立山黒部アルペンルート　⑪黒部ダム　⑫五箇山　⑬おわら風の盆
⑭意外と革新的　⑮水が豊富　⑯地震が少ない　⑰勤勉　⑱教育県（進学率が高い）
⑲分からない　⑳その他（　　）

Ｑ２　北陸３県に支社や営業所等はありますか（複数回答可）。

①富山にある　②石川にある　③福井にある　④ない

Ｑ３　Ｑ２．で「④ない」と答えられた方にお聞きします。その理由は何ですか（複数回答可）。

①商圏外　②他の地区に支店がある（地名：　　）　③交通の便が悪い
④気象条件（降雪）が悪い　⑤その他（　　）

Ｑ４　北陸新幹線「金沢～富山～長野駅間」が平成 26 年度末迄に開業予定であることをご存じでしたか。

①知っていた　②知っていたが開業時期までは知らない　③まったく知らない

裏面へ続く➔

【アンケート調査票③】

Ｑ５　北陸新幹線が開業すれば、北陸地方への店舗や工場等の進出を考えておられますか。

①進出計画がある　②現在検討中　③今後の検討課題　④ない

Ｑ６　九州新幹線や東北新幹線が全線開業しましたが、新幹線の開業を理由とした貴社の支社や営業所等の閉鎖、集約、統合等はありましたか。また、営業マンなどの出張にも影響はありましたか。

【営業所の閉鎖等について】①あった　②ない　③今後予定がある　④検討中である

【営業マンの出張について】①出張が増えた　②出張が減った　③ない

Ｑ７　企業活動において北陸に魅力を感じますか。

①魅力がある　②魅力が無い　③わからない

Ｑ８　Ｑ７．で「①魅力がある」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか（複数回答可）。

①地震が少ない　②台風が少ない　③日本の中央に位置する　④日本海に面した港がある
⑤国際空路がある　⑥高速道路網が充実　⑦環日本海ゲートウェイの役割を持っている
⑧良質な水が豊富　⑨安定した電力がある　⑩教育水準が高い　⑪ものづくりの拘りが強い
⑫真面目で、ねばり強い気質　⑬家賃や土地が安い　⑭雇用の定着率が高い
⑮女性の就業率が高い　⑯安価な労働力　⑰県民一人あたりの生産額が高い
⑱助成金制度が充実している　⑲その他（　　）

Ｑ９　東北地方には自動車などの部品メーカーが一極集中していたため、東日本大震災に伴い、生産活動に障害が発生しました。このようなリスクを分散するため、生産拠点の分散化等をお考えですか。

①計画がある　②現在検討中　③今後の検討課題　④ない

Ｑ10　Ｑ９．で「①計画がある」「②現在検討中」と答え方にお聞きします。候補としてどの地域を検討されていますか。

①北陸　②北海道　③東北　④中部　③近畿　④中国　⑤四国　⑥九州
⑦その他（　　）

Ｑ11　企業立地の条件として望まれることはどのようなことですか（上位３つをお選びください）。

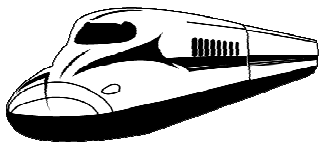
①自然災害が少ない　②港湾がある　③空港がある　④高速道路網が充実　⑤良質な水が豊富
⑥安定した電力がある　⑦勤勉な労働力　⑧家賃や土地が安い　⑨雇用の定着率が高い
⑩女性の就業率が高い　⑪安価な労働力　⑫県民一人あたりの生産額が高い
⑬助成金制度が充実している　⑭税金が安い　⑮治安が良い
⑯その他（　　）

Ｑ12　その他、ご意見等がございましたらお聞かせください。

（　　）

～ご協力ありがとうございました。～

■お問合せ先（返送先）
富山商工会議所/北陸新幹線・地域活性化プロジェクトチーム
〒930-0083　富山市総曲輪 2-1-3　☎076-423-1111（代）FAX076-423-1114



【アンケート調査票④】

北陸新幹線開業に関するアンケート調査のお願い

富山県外にお住まいの皆様へ

平成２３年９月吉日
富山商工会議所
北陸新幹線・地域活性化プロジェクトチーム

日頃から、商工会議所の事業について格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、首都圏と北陸（富山・金沢）を結ぶ「北陸新幹線」は、平成26年度末迄に「金沢～富山～長野駅間」が開業する予定であり、これにより首都圏と北陸が「乗り換えなし」で、「短時間」で結ばれることから、新幹線の開業により、沿線の各地に様々な変化がもたらされると考えられます。

つきましては、北陸新幹線が富山県内に及ぼす影響などを把握するため、大変恐縮に存じますが、下記のアンケート調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、調査結果は当調査以外の目的には使用いたしません。

以下、該当する数字に○印をつけてください。

◆あなたのことについてお伺いいたします。

性別	①男性　(①未婚　②既婚 ②女性　(①未婚　②既婚	子供	①有　②無	お住い	都　道　府　県
年代	①10 代 ②20 代 ③30 代 ④40 代 ⑤50 代 ⑥60 代 ⑦70 代 ⑧それ以上				

Ｑ１　富山県のイメージや連想されることをお聞かせください（複数回答可）。

①雪国　②田舎　③山が多い　④薬　⑤暗い　⑥食べ物が美味しい　⑦ますのすし　⑧白えび
⑨ぶり　⑩ホタルイカ　⑪立山黒部アルペンルート　⑫黒四ダム　⑬五箇山　⑭おわら風の盆
⑮路面電車（ＬＲＴ）　⑯意外と革新的　⑰勤勉　⑱教育県（進学率が高い）　⑲分からない
⑳その他（　　）

Ｑ２　富山県の観光地やお祭りでご存じのものはありますか（複数回答可）

①立山黒部アルペンルート　②黒部ダム・黒部峡谷　③称名滝　④おわら風の盆
⑤となみチューリップフェア　⑥蜃気楼　⑦ホタルイカ観光　⑧チンドンコンクール
⑨五箇山（世界遺産）　⑩路面電車（ＬＲＴ）の街　⑪瑞龍寺　⑫高岡大仏　⑬宇奈月温泉
⑭その他（　　）

Ｑ３　過去 10 年の間に北陸 3 県で訪れた県はありますか（複数回答可）。

①富山　②石川（金沢・能登）　③福井　④ない

→裏面へ続く

【アンケート調査票④】

Ｑ４　Ｑ３．で「①富山」と答えられた方にお聞きします。

回　数⇒　①1 回　②2 回　③3 回　④4,5 回　⑤それ以上

目　的⇒　①ビジネス　②観光・レジャー　③親戚・友人がいたから　④学業　⑤その他

誰　と⇒　①1 人　②家族　③友人　④同僚　⑤その他

交通機関⇒　①ＪＲ　②飛行機　③自家用車　④バス

Ｑ５　「富山」に訪れたことのない方にお聞きします。その理由は何ですか（複数回答可）。

①魅力が無い　②遠い　③よく知らない　④機会が無かった　⑤その他（　　）

Ｑ６　北陸新幹線「金沢～富山～長野駅間」が平成 26 年度末迄に開業予定であることをご存じでしたか。

①知っていた　　②知っていたが開業時期までは知らない　　③全く知らない

Ｑ７　北陸新幹線が開業したら、「富山」に行ってみたいと思いますか。

①はい　②いいえ

Ｑ８　Ｑ７．で「①はい」とお答えの方にお聞きします。理由は何ですか（複数回答可）。

①魅力ある観光地がある【具体的に⇒　　】

②食べ物がおいしそう　③1 度も行ったことがないから　④短時間で行けそうだから

⑤旅行プランが良さそうだから　⑥親戚、知人がいるから　⑦北陸の情報を良く目にするから

⑧以前に訪れたことがあり、また行ってみたいと思ったから

⑨その他（　　）

Ｑ９　「立山黒部アルペンルート」や「飛騨高山」へは富山（富山駅や富山空港）からの移動が便利であることをご存じでしたか。

①はい　　②いいえ一ヵ所

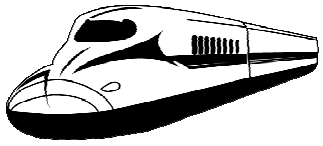
Q10　旅行する際に重要視されることは、どのようなことですか（複数回答可）。

①交通機関の利便性　②ホテル旅館の充実　③観光地の充実　④祭りイベントの充実

⑤土産を含む名産品　⑥食の充実　⑦その他（　　）

Q11　北陸方面に旅行されるとしたら、どの旅行スタイルを選びますか。

①3 県を巡る「充実型」　②1 ヵ所にこだわる「じっくり型」　③目的地のみを観光する「目的型」



～ご協力ありがとうございました。～

■お問合せ先（返送先）　富山商工会議所/北陸新幹線・地域活性化プロジェクトチーム

〒930-0083　富山市総曲輪 2-1-3　☎076-423-1111（代）　FAX076-423-1114